

2021年度

なごや環境大学 活動報告書(別冊)



2021年度なごや環境大学活動報告書（別冊）

目次

目次.....	P 1
2021年度 共育講座一覧（前期）.....	P 2
2021年度 共育講座一覧（後期）.....	P 3
団体報告書（前期）.....	P 4
団体報告書（後期）.....	P54

なごや環境大学では、市民・市民団体・企業・教育関連・行政等のさまざまな立場の人達との関わりを大切にし、持続可能な地球社会を支える「人づくり・人の輪づくり」を協働して進めていくために多様な共育講座を展開しています。

このたび、各団体が開催する講座内容を、より多くの皆さまにご紹介するため、「2021年度なごや環境大学活動報告書（別冊）」を作成しました。

2021年度はコロナ禍でもあり、開催中止の講座もありました。そうした中でも、環境についてさまざまな講座が実施され、また、受講者の方々の声をお伝えできることは、今後の活動のヒントにつながるかと存じます。

各講座の報告はウェブサイトでもご覧いただけます。

「なごや環境大学」実行委員会事務局

2021年度 共育講座一覧（前期）

1. 市民／市民団体が企画・運営する講座

講座番号	講座名	企画・運営者	ページ
B-01	昆虫食について知り、実際に食べてみよう！	愛知県昆虫食を考える会	4
B-03	乳幼児脳育×自然あそびecocorokids	乳幼児脳育×自然あそびecocorokids	5
B-04	もりもり自然探検、大発見	かすがい里山自然楽校	6
B-05	おばたの森遊び	なごや環境塾どんぐりこころグループ	7
B-07	動けない樹木たちのもつ驚きのしくみとすごーい戦略とは？	あいち森林インストラクター会	8
B-08	山崎川の自然を知ろう！	山崎川グリーンマップ	9
B-09	♪親子で楽しむ ネイチャーゲーム♪	なごやネイチャーゲームの会	10
B-10	りす山の自然学校：あなたのお子さんへの新しい学びの冒険がここに。	守山リス研究会	11
B-11	渥美の磯で珍しい生き物を探そう！	環境ボランティアサークル亀の子隊	12
B-12	夜の東山の森で虫たちを灯火採集！	なごやの生き物調査の会	13
B-13	むささびっ子の森くらぶ	よりあい工房ばんどり	14
B-14	猪高緑地の溜池（池干しの予備知識を得よう）	名東自然倶楽部	15
B-15	干潟の学校 ～藤前干潟を体感しよう！～	NPO法人藤前干潟を守る会	16
B-16	美味しい！楽しい！美しい！魅力いっぱい親子森遊び	地球ハグ倶楽部	17
B-17	110年の歴史を誇る鶴舞公園の巨大な「樹木」を調査してみよう！	鶴舞公園研究会（ツル研）	18
B-18	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」	特定非営利活動法人えこども	19
B-19	みて きてい かんじて！自然とあそぼうの会 2021 全集中！	NPO みのもんす	20
B-20	古墳と環境 ～地域の宝を考える。発見、保護、活用、継承～	環境カウンセラー岡本明子	21
B-21	ネイチャーランニング森のなか、まちの中	りとらば	22
B-22	山県市北部でまったり2021 ～春・夏～	やまがたフットバス実行委員会	23
B-23	レイチェル・カーソンの思いをつなぐ	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム	24
B-24	～勿体ないを家庭から～編む・織る・染める～	手あみ生涯学習ぐるーぷ	25
B-25	防災自助共助・身に付けよう ～生き残ろう	名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク	26
B-27	「食×国際交流」！世界の料理で環境を学ぼう♪	ノートルモンド名古屋	27
B-28	楽しく学ぶフェアトレード（通常開催／オンライン開催）	名古屋フェアトレード・タウンにしよう会	28
B-29	テクノロジーカフェ	公益社団法人日本技術士会中部本部・中部倫理委員会	29
B-30	あなたも地球エコ防衛隊になろう！	地球エコ防衛隊	30
B-31	こきそテクノカフェ ～オンラインでSDGsについて考えましょう～	名古屋工業大学こきそ技術士会	31
B-32	都市近郊田で、無農薬のコメ作り、生きもの豊かな田んぼ作り	NPO法人日進野菜塾	32

2. 企業や事業者が企画・運営する講座

講座番号	講座名	企画・運営者	ページ
C-01	環境エネルギー塾（オンライン限定講座）	中部電力株式会社	33
C-03	なごや近郊の森 de セルフケア	prana（プラナ）	34
C-04	第30回 環境フォーラム「水の未来予想図」	株式会社 エステム	35
C-05	【植物の魅力】を体験しよう！	名古屋しみどりが丘公園	36
C-06	田んぼ体験しよう！ ～昔ながらの農具を使って～	戸田川緑地管理センター	37
C-07	なごやの建設屋さんエコアクションを体感しよう！	一般社団法人 名古屋建設業協会	38
C-08	青空遊園 ～川の魅力を親子で体験！～	川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画	39
C-09	夏休み特別企画 東邦ガス親子環境講座	東邦ガス株式会社	40
C-10	夏休みの自由研究!! ～蟹江町で自然観察しよう♪～	株式会社 加藤建設	41
C-11	きみもプラネタリアン！ ～やってみよう、こどもプラネタリアン解説～	アクティオ株式会社 名古屋営業所	42
C-13	びん、缶、ペットボトルのリサイクル	愛知県再生資源団体連合会	43

3. 行政が企画・運営する講座

講座番号	講座名	企画・運営者	ページ
E-01	【公開講座】名古屋の空気は綺麗になったのか？	瑞穂生涯学習センター	44
E-02	【公開講座】気候変動の歴史をさぐる	天白生涯学習センター	45
E-03	めざせ!!水の環復活 ～学んでみよう、水のこと～	名古屋環境局地域環境対策課 水質地盤係	46
E-04	未来へつなぐ！池干しで守る猪高緑地の生態系	名東生涯学習センター	47
E-05	多様な生き物に出会おう！in 大高緑地	緑生涯学習センター	48
E-06	【徳川園共催】昆虫王国 ～命さめく都会のオアシス～	東生涯学習センター	49
E-07	歩いて自然を体感！公園・庭園の魅力	南生涯学習センター	50
E-08	それはこみ？それとも資源？～リサイクルの歴史と現状から学ぼう～	北生涯学習センター	51
E-09	水の歴史資料館で学ぶ 名古屋の下水道と大雨・防災	名古屋市上下水道局調査課 水の歴史資料館	52
E-10	【公開講座】脱！ヒートアイランド！～国内外の都市緑化から～	中生涯学習センター	53

※新型コロナウイルス感染拡大等により中止となった講座番号（B-02、B-06、B-26、C-02、C-12、C-14）

2021年度 共育講座一覧（後期）

4. 市民／市民団体が企画・運営する講座

講座番号	講座名	企画・運営者	ページ
B-33	めざせ！サスティナブルな暮らし 身近なところから実践しよう	eye opener	54
B-34	社会と土木の「話の泉」	CE技術の会	55
B-35	今の自分の取り組み／関心からSDGsのまちづくりへ（ワーク）	なごや環境サポーターネットワーク	56
B-36	～勿体ないを家庭から～編む・織る・染める～手あみの基礎学べます～	手あみ生涯学習ぐるーぷ&3Rグループ	57
B-37	北欧発！森の自然環境教育を英語で学んじよう！	森のムッレあいち	58
B-38	森で見つけ！自然と育むおやこの発見・創造プログラム	劇団森のパレット	59
B-39	おばたの森遊び	なごや環境塾どんぐりこころころグループ	60
B-40	りす山の自然学校：あなたのお子さんへの新しい学びの冒険がここに。	守山リス研究会	61
B-41	もりもり自然探検・大発見	かすがい里山自然楽校	62
B-42	削れ難く、保水力があり、歩き易いウッドチップ散策路を作ろう	名東自然倶楽部	63
B-43	森からのプレゼントⅡ～猿投の森の恵みを丸ごと体験～	公益社団法人日本山岳会東海支部・猿投の森づくりの会	64
B-44	干潟の学校 ～藤前干潟でいる～んなことしましよ！～	NPO法人藤前干潟を守る会	65
B-45	冬眠前のカニにチャレンジ！	川ナビ歩こう会	66
B-46	竹の伐り出しから！本格『門松』づくり～大人の自然工作～	NPO東海自然学園	67
B-47	ももなも耕せプロジェクト「いのこしの畑でわたをつくらう！」	特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも	68
B-48	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」	特定非営利活動法人えこども	69
B-49	ネイチャーランニング森のなかPLUS	りとるらば	70
B-50	春日井築水の周りの自然と保全	かすがい東部丘陵自然観察会	71
B-51	環境カウンセラーと行く セントレアまるごとウォッチング2021	環境カウンセラー岡本明子	72
B-52	木曽川がもたらす生物多様性の恵みに感謝し、水源の森で学び、遊ぶ	NPO法人「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」	73
B-53	みて きいて かんじて！自然とあそぼうの会（2021年下半年期）	NPO みのもむしックス	74
B-54	むささびっ子の森くらぶ	NPOチームばんどり	75
B-55	乳幼児脳育×自然あそびecocorokids	乳幼児脳育×自然あそびecocorokids	76
B-56	親子向け防災体験講座	なががわ災害ボランティアネットワーク	77
B-58	公害問題は今…	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム	78
B-59	「食×国際交流」！世界の料理で環境を学ぼう♪	ノートルモンド名古屋	79
B-60	国際協力とフェアトレードと環境	特定非営利活動法人 地域国際活動研究センター（CDIC）	80
B-61	こさそテクノカフェ ～オンラインでSDGsについて考えましょう～	名古屋工業大学こさそ技術士会	81
B-62	テクノロジーカフェ	公益社団法人日本技術士会中部本部・中部倫理委員会	82
B-63	暮らしの中のSDGs、未来の地球を守ろう！	地球エコ防衛隊	83

5. 企業や事業者が企画・運営する講座

講座番号	講座名	企画・運営者	ページ
C-15	名物カレーうどんの若鯨家が考えた持続可能な食品ロス対策	株式会社若鯨家	84
C-16	けんせつものしごと ～ただいま、未来を建設中！～	戸田建設株式会社 名古屋支店	85
C-17	春休み特別企画 長谷川明子先生と学ぶ生物多様性・ビオトープ講座	東邦ガス株式会社	86
C-18	なごや・近郊の森 de セルフケア&ナチュラルクラフト	prana（プラナ）	87
C-19	東谷山フルーツパークのネイチャー×カルチャー×サバイバル！	東谷山フルーツパーク	88
C-20	バードウォッチングに挑戦!! ～蟹江町にやってくるカモを観察♪～	株式会社 加藤建設	89
C-21	山県市北部でまったり2021 ～秋・冬～	やまがたフットバス実行委員会	90

6. 行政が企画・運営する講座

講座番号	講座名	企画・運営者	ページ
E-11	なごやSDGsグリーンパートナーズ事業所から学ぶSDGsと環境	名古屋市環境局低炭素都市推進課	91
E-12	干潟からこにちは ～貝から学ぶ生物多様性～	港生涯学習センター	92
E-13	農から始める SDGsらいふ♪	昭和生涯学習センター	93
E-14	めざせ!!水の環境復活 ～学んでみよう、水のこと～	名古屋市環境局地域環境対策課 水質地盤係	94
E-15	植物を学び「生物多様性」について考えませんか ～体験活動を通して～	中川生涯学習センター	95
E-16	海洋プラスチックがもたらす危機 ～その原因と影響を学ぶ～	中村生涯学習センター	96
E-17	毎日の暮らしにエコ工！ ～身近で感じるエコデカラ～	イーブルなごや（名古屋女性会館）	97
E-18	大切なものを長く使いこみ減量を意識してみませんか	名古屋市環境局減量推進室	98
E-19	水の歴史資料館で学ぶ 安心・安全な名古屋の水道	名古屋市上下水道局調査課 水の歴史資料館	99
E-20	身近でできるSDGs ～「エシカル消費」をはじめませんか～	千種生涯学習センター	100
E-21	オンラインでかんきょうラボ！	名古屋市環境科学調査センター	101
E-22	きれいな水を未来へ ～水環境の保全について学ぶ～	守山生涯学習センター	102
E-23	交通と環境のつながり ～名古屋の未来を考える～	西生涯学習センター	103
E-24	持続可能な社会のために ～SDGsと環境保全の取り組み～	熱田生涯学習センター	104

※欠番は新型コロナウイルス感染拡大等により中止となった講座番号（B-57）

昆虫食について知り、実際に食べてみよう！

B-01 愛知県昆虫食を考える会

昆虫はたんぱく質やミネラルを豊富に含む高栄養食品で狭い土地・少量の水・飼料で育てることができるとして世界中で注目されています。食育や自然体験として自然から捕まえて食べるプチジビエとしても注目されています。日本でもイナゴなど昔から食べられていました。そんな過去から来た未来食と言われる昆虫食について学び実際に捕まえて調理して食べてみる講座です。



6月13日 座学の様子



6月13日 市販の昆虫食の試食の様子

企画・運営者の声

今回の講座では新型コロナウイルスの影響で会場が使えなくなったりして会場を探すのが大変でした。

9月の昆虫料理を作ろう！のイベントは緊急事態宣言の為に延期になりその代わりに実際に畑で採れたての虫を食べるイベントが出来たのは新しい挑戦ができ良かったです。

9月のイベントが延期になり10月に変更したことで多くの人の都合がつかずキャンセルになったことは残念でした。

受講者の声

6月13日の講座では市販の伝統的な昆虫食は保存食だったので佃煮で味が濃いものが多く事前にご飯を持参と書いてあると良かった。

8月8日の講座では会場の施設が机が少なくメモなど書きにくかった。

10月10日の講座ではコオロギがどこにいるか探すのが難しかった。

乳幼児脳育×自然あそび ecocorokids

B-03 乳幼児脳育×自然あそび ecocorokids

乳幼児のいる親子が、身近な自然環境に対する興味関心を深め、人生で最初の教育の現場で「生きる楽しさ」を得、親子の毎日の暮らしの中に自然環境とのつながりの感覚を学び、実践することで、親子の時間が充ちあふれて、参加者が、ワクワク未来を創造できることを目的として講座を実施。日本の四季行事に沿った日程で講座を組むことで、自然と文化を大切にすることを育み、更に、知育あそび×環境教育×運動×創作×子育ての学び等を盛り込んで、幼い子でも飽きることなく楽しみながら、更にお家に帰った後も日常でできることを取り入れることで、継続して心と体を育てる活動を行っている。乳幼児期の教育について深く考え、親の学びに重点を置き、親子がお互いに楽しみ学ぶ工夫や、幅広い視点から学ぶ機会を設けている。



5/20 東山動植物園での知育マットの様子です。色によって歩いた時の感覚が違います。



9/19 東山動植物園での色塗りの様子です。親子で草の上で思い思いに楽しみました。

企画・運営者の声

親子が“自然と”笑顔になる、そんな場づくりを目指しました。そして、それは達成できたと感じています。ポイントは3つあります。①自然を感じながらのワーク…動物園、公園という場所でそれぞれ季節をテーマに実施し、中にはもうそんな季節？と驚かれる方もいて、日々の子育てで少し季節を感じると、より豊かな気持ちになれるのではと感じました。②たった一つのルール…これがあることで、いつもより大らかに過ごせたという方がいて、自然というのは、本来のその人のペースや興味を大切にする時間も含まれると感じました。③スキが見つかるオリジナルプログラム…何も言わずに唇を尖らせて取り組む子など、年代に関わらず自然と楽しめる時間にできたと思います。なごや環境大学を通じなければ出会えない人同士が出会う。その醍醐味を感じました。

受講者の声

- ・ 工作もあったり、種まきもしたり春を感じる内容で楽しかった。
- ・ 子供の調子に合わせて自由にさせてくれた。
- ・ 遊びを親も学びながらできる、思い切り子どもが遊べた。
- ・ お子さんのいる立場で説明をしてくれた。
- ・ ブルーシートの上で受講できて気持ちいい。
- ・ 親も楽しめ開放的な気分になれる。
- ・ キリンの実物大のシートが楽しかった。
- ・ 自然の中での子供とものづくりや友達との交流の場を作って欲しい。
- ・ 子どもを思っている自粛生活の日々のための自宅での遊び方を教えて欲しい。

もりもり自然探検、大発見

B-04 かすがい里山自然楽校

①里山を愛する地域住民の憩いの場、②遊びながら学べる体験の場、③公園のような緑豊かな憩いの場、④里山をイメージした自然体験の場、⑤希少種の生息地域の保全を目的にした整備を行い、「遊びと楽しみ」を通じて環境への意識の醸成をめざし、里山の整備保全活動や自然体験の活動を通して自然環境を理解する情緒豊かな人材育成を目指しています。竹林の整備と利用活用のあり方学習、水辺再生でよみがえるヘイケボタルの養成活動を重点的な活動を主眼として継続活動を行っています。このようなフィールドを整備する活動と共に幼児から高齢者まで幅広い年齢層に支持される活動を続けています。講座では自然観察を必須として地内を案内し整備の現状を紹介するとともに、楽しみながら学べるワークショップを取り入れています。近隣の名古屋市からの応募者も増え、地域の枠を超えたふれあいの輪が広がっていると感じています。今回は竹の工策で情緒豊かな体験ができるよう工夫しました。



7月24日(土)、虫かごづくり・竹を使います。



6月11日(金)竹あかりとホタルの地上絵完成です。LEDライトと竹あかりを使用しました。

企画・運営者の声

すべてが定員を超えての申し込みをいただきありがとうございます。緑区や西区、守山区など名古屋市内からも参加が多く、広域の活動として認知されてきたと感じています。工作用カッターや鋸も怪我無く成功裏に実施できたことが嬉しいです。竹あかりや虫かごづくりは予想以上に人気でした。今後も竹工作を取り入れたいと思います。

受講者の声

- ①竹林の中が、とても整備されていた。ムヨウランをはじめてみました。
- ②里山体験は子供にとってかけがえのないおもいになったと思っています。
- ③鋸やナイフを初めてつけた。のこやカナズチがたのしい。
- ④大きなカブトムシを選らんでもらってありがとうございます。大事に育てます。
- ⑤夜、楽しかった。また、きたい。

おばたの森遊び

B-05 なごや環境塾どんぐりころころグループ

小幡緑地のもりのなかにどんぐりころころグループが主体的に作り上げた、森遊びの場「どんぐりころころの森」で子供たちとその親が森遊びを楽しみながら自然の大切さに気付くことを狙いとしています。

春の森遊びは、落葉掻きで集めた落ち葉で落ち葉プールを作ったり、落ち葉滑りをしたり、ゲーム：木へのインタビューで自然に目を向けた活動をしたりしました。

夏の森遊びは、オリンピックに絡めたゲーム「じゃんけんマラソン」をし、みんなでビートルハウス作りに挑戦したりして森の中ならではの活動を行いました。



夏の森遊び：ビートルハウス作り

企画・運営者の声

本物の森の中での活動ですので、自然を目いっぱい感じながらの体験学習となっています。

春は、落ち葉を集めてきて、自分たちで落ち葉プールを作ったり、落ち葉滑りを楽しんだりしました。夏の森遊びはカブトムシの話をしてカブトムシのためのビートルハウスをみんなの協力で作り上げました。

いずれの活動も、自然に囲まれた森の中でのプログラムで、子供たちにとって貴重な自然体験になったものと思っています。

受講者の声

自然の中という、普段できない体験ができてよかった。

1歳の子供と参加したが、自然と沢山触れ合えてよかった。

暖かい雰囲気、考えられた内容、よい環境で森遊びができ充実していた。

動けない樹木たちのもつ驚きのしくみとすごい戦略とは？

B-07 あいち森林インストラクター会

従来の観察樹木の特徴を説明するのではなく内容を大きく変更、今年のテーマは、樹木の不思議、なぜそうになっているのか、仕組みなどを深く掘り込んで参加者に問い、ヒントなども出して楽しく共に考えるというパターンとしました。

設定したコースを進みそこで見られる各樹木について参加者とクイズも交え考え楽しむものです。参加者の中には新たな発見をされた方もいて好結果でした。



5/9 名城公園 観察会で参加者への説明



6/20 大高緑地 終了後の全員写真

企画・運営者の声

今年は樹木の不思議な驚くような戦略を考え、そのためのそれぞれの仕組みも説明し参加者と共に考え楽しもうと従来とは異なった企画としました。

名城公園では、都市公園の中の10種の樹木のそれぞれの今まで考えたことなかったようなことをクイズ式に参加者にも楽しく考えてもらおうとしました。

大高緑地は新たなコースで進行、自然豊かなコースに10種の樹木とは絞らずエリア分けして、その中にある樹木のそれぞれの仕組み、戦略をクイズ形式にして参加者に考えて楽しんでもらいました。

新たな進め方に参加者も楽しんで頂けたようです。

受講者の声

そうだったの！

細かく教えて頂いてよくわかった。

楽しかった、この企画は次はいつ？

丁寧に説明を聞けよかった。

概ね好評を得て、次の開催を待たれる状態でした。

山崎川の自然を知ろう！

B-08 山崎川グリーンマップ

名古屋市内を流れる都市河川、山崎川とその周辺には思った以上に自然が残っています。地球温暖化による猛暑や大規模護岸工事、外来種の放流などにより数を減らしたり、ここ数年の間に姿が見られなくなっている生き物もいます。その事実を次世代に伝え、今いる生き物を守っていかうという方向性を作り出すことが、講座主催者の一番の思いです。新型コロナパンデミックのこの時期には、残念ながら密を避けるために、多くの参加者を集めることが出来ませんが、小規模ながらも観察会を続けていくことが大切なのだと思います。



4月10日 瑞穂グラウンド周辺で野鳥の観察



5月8日 山崎川の生き物観察

企画・運営者の声

4月の野鳥の観察会は、参加数も少なく【12名】、野鳥の観察がやりやすかったです。例年になく春の気温が高く、冬鳥の多くがすでに北の国に帰ってしまっており、種類が少なかったのが残念でした。しかし、鳥の専門家の見る目は素晴らしく、参加者が満足できる十分な数の鳥が見られました。

5月の川の生き物観察会は、予定していた以上の参加者が集まり、主催者側は焦りました。5月は、魚がじゅうぶんに大きく育っておらず、数が少ないのですが、そんな時期にも絶滅危惧種のウナギやドジョウが見つかったほか、スッポンの赤ちゃんが見つかったのは驚きました。この時期に観察会を行なったのは、初めてなのですが、夏の暑さを気にしないですむのは、気楽でした。

受講者の声

楽しかった。説明がわかりやすかった。という意見が多かった反面、5月の川の生き物観察会では、がさがさの時間が短かったという不満の声もありました。講師の説明を聞きながら歩く鳥の観察と、がさがさでは、やり方を全く変えないといけません。

♪親子で楽しむ ネイチャーゲーム♪

B-09 なごやネイチャーゲームの会

身近な自然にふれ合い、自然の楽しさや面白さ、不思議さを体験できる“ネイチャーゲーム”を楽しみました。四季折々の楽しさを色々なフィールドで楽しんでもらうため5回の講座を行いました。今年もCOVID-19の影響が心配でしたが全5回開催でき、参加者もほとんどの会で定員を上回り、コロナ禍でも自然体験への関心の高さを感じました。マスク着用など基本的なことに加え、なるべく家族単位で動いていただき、他人との接触を最小限とするよう配慮するなど、感染対策を十分にしておこなわれました。小学生くらいの子供が多く参加しましたので、シンプルながらも自然に興味をもてるようなプログラムを考え、楽しみながら学べるよう工夫をしました。



秋の会で色々な葉っぱをみんなで集めて並べてみました。



春の会で芽を出した草花を見つけて、吹き出しをつけてみんなで見ました。

企画・運営者の声

今年度もコロナ禍での開催となりましたが、昨年度とはちがい感染防止対策も参加者のご協力とご理解もあって、感染者をだすことなく全日程で無事開催できました。感染対策はなごや環境大学様および私たちの上位団体である日本シェアリングネイチャー協会からの指針を基に、できることはすべてやりました。天候にも恵まれ、毎回定員以上の方々に参加頂き、楽しんでいただけたと思います。これはスタッフだけでなく参加者の方々も高い意識をもって参加されていた結果だと思います。来年度以降もこの状況が続くと思いますので、引き続き改善していきたいと思っています。

受講者の声

- ・ コロナ禍でイベントがなくなっていくなかで、開催していただけて、本当にありがとうございました。
- ・ 遊び道具が何もなくとも、これだけこども達が楽しそうにしているのは新鮮でした。
- ・ ゲームを介してうちとけることで、こどもが積極的に参加していく様子は見ていて、嬉しくなりました。

りす山の自然学校：あなたのお子さんへの新しい学びの冒険がここに。

B-10 守山リス研究会

名古屋市の東谷山198mに棲息する野生のニホンリス・ムササビを含めた哺乳類の調査・保全のためにおとなと一緒に行動し考えることができるようにする、その際、体験による気づきとデータ計測による数字を使った自然界の理解の素養を育成する。野生ニホンリスを捕獲観察して現場で観察を行い、アンテナでリスや巣を自分達で見つける。また、野生生物の痕跡観察と観測機器の操作に触れ、また季節に応じた植物の観察や水生生物の採捕を行うことで、東谷山の自然環境の理解を深めるとともに、センスオブワンダーの芽を育てる。2回の夜間講座も行い、非日常の中での冒険心と安全確保の基本を養う。講座の感想文を通信添削し、個人の独自性を発揮した文章の作成支援を行った。



2021/05/25 東谷山 ムササビの巣箱を親子連れに説明



2021/05/08 東谷山 夜間調査に出発

企画・運営者の声

コロナ禍において、安全面に配慮した中で、本物の自然に触れる環境と参加者同士の気づきや交流体験を提供することを目的としておりました。おおむね達成できましたが、参加者が目指していた生物が出現しなかった場合などもありました。また、各家庭毎に抱かれている価値観（自然保護・動物保護への考え等）との相互理解をより進めていく必要を痛感しました。代表が期間中に逝去したが、環境大学講座は継続していきます。

受講者の声

- ・リスには会えなかったけれど、リスがどんなところに住んでいるか分かった。
- ・リス以外の生き物についてもいろいろ知ることができて、もっと自分で調べてみようと思った。
- ・調査機器の使い方をもっと知りたい。
- ・夜の山を見れた。
- ・今まで動物に触れあうことはあったけれどこんなに詳しく色々な目線でみたことや考えたことがなかったのでとても楽しかったです。アクティブラーニングのスタイルで質問と実践を入れ非常にわかりやすかった。
- ・研究者の視点がしれてよかった。
- ・りすのしっぽがかわいい。
- ・もっと色んな虫が見たい。
- ・今まで知らなかった植物や虫について毎回知識が増えてうれしい。
- ・小学生以上の参加にしてくれると嬉しい。

渥美の磯で珍しい生き物を探そう！

B-11 環境ボランティアサークル亀の子隊

渥美半島の三河湾側に残る貴重な宇津江海岸の磯で生き物探しをします。活動時間は約2時間。100m近くある広い磯に広がり、自由に生き物探しをします。活動場所となる磯は、後背地に山があり、山から流れ出る真水と海水が混ざる汽水域となっています。その結果、何種類もの磯の生き物が生息しています。

タイドプールの中の海藻の下に隠れている小魚を見つけたり、波が引いたときに出てくる動石の下のカニやミミズハゼなどを見つけたりすることができます。ナマコやアメフラシ、ウミウシなどもあります。岩には、数種類のイソギンチャクや大きなフジツボガイ、カサガイ、インダタミ、また、オレンジのカイメンも見ることができます。



5月29日 第1回目の活動 採取した生き物の説明を聞く子供たち



8月8日 第2回目の活動 タイドプールで生き物探しをする親子

企画・運営者の声

名古屋市やその近郊から2～3時間かけてきてくれる人たちが、「楽しかった」と言ってくれるプログラムである。単純な生き物探しだが、水族館や動物園のように展示されている生き物を見るのではなく、五感を使って生き物を見つける楽しさは大人も夢中になる。なかなか、見つからなかったり、見つかったも捕らえられなかったりすることも楽しさのひとつ。低学年の子どもたちは小さなカニを指でつまめるようになることも挑戦。

渥美半島のきれいな海だからこそ生息する生き物たちである。毎回、見つかる生き物は違いがあり、何度来ても楽しめる。活動の終わりには、専門知識のあるメンバーが生き物について解説する。生き物の驚くような実態を聞くこともできる。リピーターも増えている。これからも渥美半島の自然を楽しむに来てほしいと思う。

受講者の声

- ・いろいろな魚がいて楽しかったです。また、来たいです。
- ・ナマコやアメフラシに会えてよかった。
- ・魚が一杯取れて、魚がきれいでもかわいかった。いろんな種類がいて楽しかった。海が気持ちよかった。
- ・人がすぐに入れるところに、こんなに生き物がいろいろいることに感動しました。
- ・海の生き物を身近で観察できて、貴重な体験でした。子どもの教育にもとても良かったです。
- ・説明もわかりやすく、事前のメールでの対応も丁寧だった。
- ・とても楽しかったです。子どもたちの楽しそうな姿を見ながら私も夢中になりました。途中から海を眺めるだけでもリフレッシュでした。

夜の東山の森で虫たちを灯火採集！

B-12 なごやの生き物調査の会

今年で16年目になる東山の森での昆虫の灯火採集調査で、全4回の講座です。灯火採集の基礎知識の説明から虫の採集の仕方までを説明する第1回の座学に始まり、翌週第2回の屋外実習で灯火に集まる蛾類と甲虫類を採集し、その翌日第3回の講座で採集した虫の標本作りをしました。多くの受講者が灯火採集は初めてで積極的に参加し、標本作りでは子どもも大人も夢中になりました。第4回の報告会では採集した虫たちから得られたデータから、森には多くの生き物がくらしていること、名古屋の森の環境がこの多様な昆虫の命を支えていることを伝えました。コロナ禍の中、実習の場所を2ヶ所にして受講者を半分ずつに分けて密を避けるなど、様々な工夫をして実施しました。



第2回（7月17日）灯火採集の様子（光に集まった虫を採集する親子）



第3回（7月18日）標本作りの様子（展翅したガの名前を調べているところ）

企画・運営者の声

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、講座の開催にあたっては座学の会場を変更したり、実習の場所を2ヶ所設けて受講者を半分ずつに分けて密を避けるなど、様々に配慮が必要でした。講座が無事進行したことには安堵する半面、感染症予防対策として会話を最小限にするなどの配慮から、講座を通して伝えようとしてきた虫たちの姿やその自然の中での営みの様子を十分に伝えられないもどかしさなども感じました。しかしそんな中でも子どもたちが夢中になり楽しんで参加する姿には励まされました。たくさんの虫たちの命を支える東山の森が貴重な存在であり、今日ある森がこの先もずっと変わらずあり続けることが重要であること、そしてその持続性は、多くの生き物の一員である私たち人間の暮らしにもつながるものであることを今後もねばり強く伝えていきたいと思えます。

受講者の声

- ・子どもが楽しみながら採集することができた。
- ・虫が集まる様子が面白かったです。
- ・虫のことが身近に感じられるようになった。
- ・自分では絶対にできない体験ができました。セミの羽化やオケラ、ハンミョウなどめずらしいものが見られてよかったです。
- ・貴重な体験でした。
- ・初めての灯火採集が新鮮だった。
- ・ほかの虫も多く見ることができた。
- ・子どもが大変楽しんだ。
- ・標本を作るのが初めてだったため興味深かった。
- ・標本づくりがよくわかりました。
- ・標本以外のお話も聞いて大変ためになりました。
- ・みなさんの知識の深さに驚きました。

むささびっ子の森くらぶ

B-13 よりあい工房ばんどり

森のようちえんでは、森でのロープ渡りや崖登りに挑戦しました。季節に合わせて雨の生き物探しをしたり、川遊びをしたり、木の実を使って工作などをしました。初めて森に入る親子も多く、子どもにとっては貴重な原体験の場となりました。

プレ森のようちえんでは、小さなこどもたちとお母さん、お父さんが一緒に自然で過ごし、広い原っぱでかけっこしたり、ゆっくりとした時間を楽しみました。



6/13 海上の森センター
毎回ロープ渡りに挑戦して、だんだん上手になっていく。ちょっとした成長が見える。



9/26 海上の森センター
森でひろったどんぐりや木の枝で自由に作品づくり

企画・運営者の声

感染対策、人数を制限して、コロナ禍でもこじんまりと活動を続けた。途中、緊急事態宣言が発令されたり、雨の日も多く、参加してもらうのに苦労したが、どの回も参加希望が多く、こどもとその家族たちが森や人とふれあう活動を渴望していると感じた。少しでも心が開放できたのなら嬉しいと思う。

結果的に参加者数は伸ばせなかったが、小さいこどもの時代から自然に触れ、森に親しみを持ってもらうこと。また、その家族も森や自然に関心を持ってもらうことなど、当初の目的は達成できたと思う。

受講者の声

- ・ スタッフの方がとても子供に接するのが上手だった。機嫌が悪くなっても安心だった。
- ・ これまで何度か参加してきましたが、今日は森の匂いを感じたことを話したり、生き物と接する様子だったり、自分から進んで楽しんでいると感じました。自然が身近なものになっていってもらえたら嬉しいなと思います。
- ・ 森の危険なところ、どこに何がいるのかをくわしく教えてもらえて楽しかったです。
- ・ 雨天の中でも子どもたちが楽しめる内容でした。

猪高緑地の溜池 (池干しの予備知識を得よう)

B-14 名東自然倶楽部

11月に行われるすり鉢池の池干しに先立ち、溜池に関連する講座を行い、池干しを行う背景の理解を深めて頂く事と、池干しに必要な知識の習得を目的として行いました。残念ながらコロナが収まらず、受講者さんに池干しへの参加を呼びかけることは出来ませんでした。

溜池が、水循環や生物多様性に重要な役割を果たしていること、猪高緑地には多くの溜池が残されていること、その溜池が危機的状況にあることなどを紹介しました。胴長を着て溜池内の罟で外来種の捕獲を行い、ガサガサを行い在来種・外来種を捕獲する経験をして頂きました。緑地内の溜池をできるだけ回って観て頂きました。



すり鉢池にて、胴長ライフジャケットを着用して、罟の点検



塚ノ杵池の堤体上で、水質調査の説明中

企画・運営者の声

講座により一般の方より池干しの知識を得た方に、すり鉢池の池干しへの参加を呼びかけて活動への導入を図る目的で講座を企画しました。しかし、コロナが収束せず、地域の方さえも絞らねばならない状況のため、当初の目的は果たせませんでした。しかし、緑地の水循環や生物多様性に及ぼす働きの大切さ、それを発揮するために大きな要因となる溜池の状態等を知って頂く事は出来たと思います。

講座で使用した胴長は、全て「なごビオ」からお借りしました。当倶楽部ではとても用意できない数量です。この場を借りてお礼申し上げます。このような連携が今後も必要と思います。

受講者の声

確かなデータ、多くの資料に基づく講座でした。非常に充実した内容でした。／今と昔を比較しながら、わかり易く、猪高緑地の現状を知ることができました。／時間配分、実技(池に入る)、説明とも面白く、時間が足りないくらいでした。／時間的に難しいと思いますが、1カ所ずつにもう少し時間をかけて頂けると嬉しい。／地質や他の解説がとても勉強になりました。また、改めてゆっくりとまわってみたいです。

干潟の学校 ～藤前干潟を体感しよう!～

B-15 NPO法人藤前干潟を守る会

実際に干潟に入って生きものと触れ合うことを大事にしています。そうすることで、ただの泥としか見えなかった干潟に驚くほど多種多様な生きものが生息していることを感じ、知ってもらうことができます。また、上流からの栄養が小さな命を育み、まわりまわって大きくなった魚などを私たち人間が食べるという「命のつながり」についても伝え、干潟はもちろんのこと、上流を含めた流域全体の環境を守る重要性に気づいてもらいたいと考えています。さらに、藤前干潟が国際的にも重要な湿地であることも伝え、渡り鳥たちの命をささえていることを伝えます。



6月26日(土) 英語のみを話すプログラムを開催。泥んこになって遊ぶ幼児の姿が印象的。



8月22日(日) 曇天で風もあり干潟に居るのが気持ちよかった。干潟の上で生きもの紹介中。

企画・運営者の声

コロナ禍での講座実施も2年目。デルタ株の猛威の中、細心の注意を払っての開催となりました。着席の場合は家族単位とし、生きもの観察もできるだけ外で(そのまま干潟で、または室外に机を出して)説明するように務めました。参加希望が殺到して電話がつながらないというご指摘もいただき、途中から「抽選」という形をとりました。原則としてメールでの受付としましたが、迷惑メールに入ってしまったたり、こちらのPCからのメールが届かなかったりと、色々な問題が発生し、思いのほか労力を要しています。

また今年は雨が多かったうえに潮の引きが悪く、条件的にはかなり厳しい半年でしたが、皆さんに楽しんでもらうことができ、無事に終えることができてホッとしています。

受講者の声

- ・満潮干潮を肌で感じて、自分の目で見て、とったものを教えてもらった。又、これはもう死んでる貝かな?と思ったものも、これは生きているよと教えてもらった(ソトオリガイ)。知らない貝がいて知っておもしろかった。
- ・It was fun especially for the kids playing in the mud and catching some sea creatures.
- ・答えをあえて教えず、考えさせるところがよかった。
- ・干潟の生き物にもふれること自体も楽しかったが、生態なども知ることが出来、とても勉強になった。

美味しい!楽しい!美しい!魅力いっぱい親子森遊び

B-16 地球ハグ倶楽部

美味しい・楽しい・美しいを合言葉に①自然の恵みを採って食べる“おいしい体験”②自然の素材で作って遊ぶ“楽しい体験”③自然の神秘を五感で感じる“美しい体験”を家族で楽しむ講座です。体験を通して、一番大切な自分自身、家族、お友達、自然と繋がり、子供達もパパもママも元気になる。持続可能な社会のために、自分と家族と自然を大切にできる子供達を育むことを目指しています。



6/22 大高緑地
琵琶ヶ池で生物を見てみよう!探してみよう!



7/18 ふのブルーベリーガーデン
レインステックを作ってみました!

企画・運営者の声

- ①企画が陳腐にならない様に優れた外部講師の先生を呼ぶことで、学びが深まる。
- ②事前入金を頼み当日の現金受け渡しをゼロにすると、運営がスムーズになる。→コロナ対策にもなる。
- ③体温測定による時間のスムーズ化→コロナ対策と受付時間の短縮化

受講者の声

1. 自然観察と英語のコラボ企画を実施しました。幼稚園児での話せる単語で表現しました。
2. 今年は、ホテルの大発生日とイベントが偶然にも重なり参加者の方は喜んで頂けたと思います。
3. 琵琶ヶ池の生物調査では、生物の多様性を考えて頂くキッカケとなりました。
4. 素晴らしいフィールドでのワークショップは自然と大地と楽しめた企画です。

110年の歴史を誇る鶴舞公園の巨大な「樹木」を調査してみよう！

B-17 鶴舞公園研究会（ツル研）

110年の歴史をもつ鶴舞公園の巨大な樹木の計測調査を一般市民に体験してもらうことで、参加者に身近な自然環境について考えるきっかけをつくりながら、公園樹木の基礎データを得ること。また、大学ゼミ（名古屋産業大学 長谷川ゼミ）との連携により、大学生の研究の場とすることを目的に実施。

講師に樹木医を迎え、園内の特徴的な樹木を対象に、樹高、幹周、枝張等の測定を行いながら、講師による樹勢診断を交え、調査を実施。



2021/5/15 鶴舞公園にて
ヒマラヤスギの樹木調査（幹周）実施



2021/5/29 緑化センター 2階 講習室にて
樹木測定方法についての講義

企画・運営者の声

- ・ 樹木測定、樹勢診断では、講師である樹木医から公園を代表する樹木に関する興味深いお話をいただけたことで、受講者の満足度も高く、また主催者の運営メンバーにとっても良い経験となった。
- ・ フィールドワークを含め、全体を通じて怪我や事故などもなく、安全な講座運営ができた。
- ・ 定員20名に対して、両日とも半数を下回る参加者数であったため、次回は広報面に力を入れたい。

受講者の声

- ・ とても面白かった。「へえ」「はあ！」の連続です。常に関心をもって樹木を見ますが、数字で表すともっと面白くなりますね。
- ・ 樹木医の説明がよくわかった。測定はまずまず。
- ・ 樹木が元気かどうかの調べ方がよく分かった。別のところでも生かしてみたい。
- ・ 樹木の周りや高さを測ったことはあるが、クリノメーターという器具を使ったのは初めて。ヒマラヤスギをじっくり見るのができた。
- ・ 鶴舞公園は整備されているのが良いが、他の悪条件の時の樹高等の測り方を知りたかった。

りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう!」

B-18 特定非営利活動法人えこども

東谷山をフィールドとした自然体験を通して、季節や時期によって多彩な自然が存在していることを伝えます。



5/22 土で耕す土で遊ぶ
耕した畝にサツマイモの苗を植える様子



7/17 東谷山 朝のハイキング
朝の森で虫を発見!

企画・運営者の声

NPO 法人えこどもの環境大学の負担金を受けて得られるゴールの1つにSDGs到達目標の15番陸の豊かさも守ろうがある。除草剤をまかないで子どもたちに安全に草遊び、土遊び、虫に触れ裸足で駆け回れる環境を提供しつつける為には、人の手による草刈りの重要性がある。中でもスタッフや参加者に呼びかけたのは、この環境はただ自然って気持ちいいよねだけでは得られない、自然との共生、せめぎあいのわずらわしくて、手間のかかる日々の取り組みのおかげで成り立っている。ここには、草の中でもたちの悪い(人にとって)外来種のワルナスビがはえている。トゲは鋭く軍手も貫き、刈っても刈ってもはえてくる強さと毒性のある実をつけ種を撒き散らす。プロの農家に相談すると地下茎を枯らす除草剤をやりなさいと指導されるが、納得がいかないため一度も使用していない。参加者にもその事を伝え、子どもが安全に土に触れられるよう協力頂き、ただお膳立てされたアミューズメントパークではない、体験型環境教育の場である事を根っこの部分で紡いでこれた事で講座を毎年開催させていただけるおかげで、大分環境が整ってきたように思います。

受講者の声

- 4/24「春の野草とチンキ作り」
→子どもが自然の草花と触れ合い、楽しんでいて良かった。
- 5/22「土を耕す 土で遊ぶ」
→初めての経験ができ子どもたちが楽しそうだった。大人の方の支援も素敵だった。
- 6/19「梅雨こそ森遊び」
→子どもが理解して取り組みやすく、楽しめる内容だった。
- 7/17「東谷山 朝のハイキング」
→いつもはすぐに抱っこを求める子どもが自分で歩くと言ってビックリ。

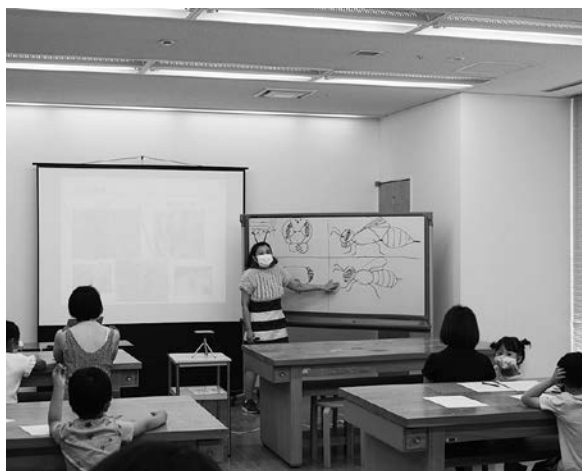
みて きいて かんじて！自然とあそぼうの会 2021 全集中！

B-19 NPO みのもしックス

本講座では、本来ならば屋内で行う文化活動を森の中で行うことで、森の存在を身近に感じて自然が好きになるきっかけを作ることが目的の一つです。また森の植物や生き物に触れ、その不思議さを実感することで、子どもの「生きる力」を育み、持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成することを目的としています。



2021/4/25 親子ヨガ 自然の中で全集中！
五感を意識してヨガのポーズをしている様子



2021/8/1 ミツバチすこいぜ 耳を澄まして全集中！
講師がみつばちの特徴について解説している様子

企画・運営者の声

今回は2講座ともゲスト講師を招きました。講座の前に打ち合わせがしっかり出来たことがよかったです。私達の講座の目的を講師にお伝えし、講師が目的にあったプログラム構成にしてくれました。参加者からの満足度が高く、そして私達にとっては講師の話し方、企画構成などは次回の講座に活かせるヒントを沢山もらいました。

受講者の声

- ・森の中で横になるのは初めてで良かったです。
 - ・ゆったりとした雰囲気と分かりやすい説明でヨガを楽しめました。
 - ・ミツバチのことだけでなく、ハチの生態のことをより知ることができ、良かったです。
 - ・ミツロウラップ作りたかったままミツロウだけもって、これを機に作ってみたいと思います。
- ありがとうございました。

古墳と環境 ～地域の宝を考える。発見、保護、活用、継承～

B-20 環境カウンセラー岡本明子

環境カウンセラーと行く、今回のテーマは『地元の宝、古墳と自然』です。

名古屋には、様々な宝物があります。それを見つけ、保護し、継承するだけではなく、上手な活用法を探る必要があります。今回は、地域の宝である『古墳と自然』を座学・見学を通して学びます。

自然は、鎮守の森や公園など地域の宝として守られてきました。ただ保護するだけではなく生活に取り込み、傷めないような活用法を探りながら今日に至る実績があります。この活用法を参考に、古墳を知り、守り伝える方法を探る機会を探る講座です。

歴史(古墳)に興味のある人、自然や地元が好きな人、ワイズユースを考える人、に参加を呼びかけました。



古墳



10/27 古墳発掘現場の見学

企画・運営者の声

今回の講座は、古墳好きの人、環境系の人、半々程度かと思っていたが、実際には、古墳に興味のある人がほとんどという参加者構成だった。ただ興味があるという人もいたが、各地の古墳をめぐる人、博物館などのボランティアの人など、古墳に興味のある人がほとんどだった。

古墳と環境をつなぐ4回目の座学の欠席者が目立つなど、環境や地域資源を考える機会を作りたいと思っていた意図とは、少しずつれてしまったように感じる。

最終日、講座の意図や参加者に考えてもらいたいことなどを再度強調、最終的なアンケートでは、環境への興味が大きくなったという意見や、古墳を地域の宝を守るにはどうしたらいいかといった意見も出てきてホッとした。

環境とは少し離れた所から環境を見つめるという『斜めからの視点』で企画する講座の難しさを実感した。

受講者の声

古墳が好きなので、このような講座があって嬉しかった。／どうしたらこのような充実した講座が企画できるのか知りたい。／国立公園と古墳とを一緒に考えるのは、なかなか難かしいと思う。／古墳が地域の宝、という発想をしたことがなかった。地域でも守っていききたい。

ネイチャーランニング森のなか、まちの中

B-21 りとらぼ

森を、登り坂を走るという解放感や非日常感を直接体験することが第一目的。森を気持ちよく走るだけではなく、地形を読みながら走ったり、裸足に近い状態で走ったりすることで、これまで経験したことのない新たな森との関わり方を体験するのが第二目的。五感を研ぎ澄まして走ることで、かけがえのない自然の大切さに気づき、それを守る行動に結びつけられるようになるのが最終目的です。



5/1 第1回 あいち海上の森センターにて
静かなひと時、森の息吹を体全体で味わった



5/16 第3回 天白公園にて
薄いサンダルで土の状態を感じながら走った

企画・運営者の声

初めて森へ入る人、日ごろ走っていない人、運動が嫌いだけど家族についてきた人…いろいろな立場の参加者のいる中で足並みを揃えるのは無理で、まずはゆっくりと歩くところから始めました。走ることばかりでなく作ったり、地図を読んだりすることで楽しみ方の枠を広げるべく工夫しました。最終回の森を颯爽と走る回では、この界隈の登山道がガれているところがほとんどで、気持ちいいというよりは滑るのが怖いと感じてしまう人も少なからずいたようで、場所の選定にもう一工夫必要であると感じました。走り慣れていない人も走った後は一様に「気持ちいい」と言ってくれたのは、企画者として感無量でした。

受講者の声

- ・久しぶりに誰かと一緒に森を走れた。香り、声、風…きもちよかった。
- ・自然を満喫できました。
- ・寝転んで自然の音を聞けて良い体験でした。
- ・山頂から見る景色が美しかった。
- ・尾根、谷など山のでき方の違いがわかりました。
- ・普段、靴を履いているとわからない地面の変化に気づけました。
- ・森を走るという、自然の楽しみ方が増えました。苦しさと楽しさが同居です（笑）。

山県市北部でまったり2021 ～春・夏～

B-22 やまがたフットパス実行委員会

山村地域の自然環境や暮らし、共生方法を学べる講座を実施しています。

岐阜県山県市で開催している、毎年人気の里山の季節感を肌で感じられる「山菜摘み体験」・「お茶摘み体験」では、地域の人たちと交流をしながら山菜料理や地域ならではのお茶を楽しみました。

毎年開催を心待ちにしている方も多い講座で、去年はコロナの影響で中止となってしまったため、久しぶりの再会を楽しむ方もおられました。

名古屋で開催を予定していた柿渋染め体験は、新型コロナウイルスの影響により中止。



5/3 岐阜県山県市
地元のおばあちゃんに教わりながら山菜摘み



5/16 岐阜県山県市
市場には出回らない北山茶を摘む

企画・運営者の声

今期も新型コロナウイルスの影響を考え、地元のおばあちゃん達とも話し合い最後まで講座を実施するかどうか悩みました。去年コロナで中止にしたこともあり、今年はぜひ参加したいという声に応えたいとの思いもあったため、参加人数は例年より減らした上で、可能な限りコロナ対策をして開催をすることに決めました。参加者の方々は、地域の人たちとの久しぶりの交流や、里山の心地よい自然の空気を楽しんだり、山県市神崎の暖かく優しい雰囲気を楽しんだりしていました。参加者の方や地域の人たちの元気な笑顔を見て開催してよかったと感じました。

受講者の声

- ・きれいな自然とおいしい食事とても楽しい時間をすごせました。
- ・楽しくおいしく神崎の春を満喫しました！
- ・とても楽しく山菜について知ることが出来ました！ごはんもとてもおいしく、おばあちゃんたちも優しく楽しい時間をすごすことが出来ました。
- ・皆様がやさしく丁寧に接していただいて好感度大です。
- ・山県の楽しい人々のあたたかいふれあいにとっても感謝しました。

レイチェル・カーソンの思いをつなぐ

B-23 レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム

「私たちの住んでいる地球は、自分たち人間だけのものではない。」というレイチェル・カーソンの思いから、自然との共生、生物多様性について講座を企画した。

第4回は残念ながら緊急事態宣言が発出されたため、来年度以降に延期することとした。専門的なことに加えて市民の活動も交えた内容としたことで受講生の評価が高かった。



第1回 講師が描いたイラストで解説



第3回 生物多様性についてのまとめ

企画・運営者の声

海洋生物学者であるレイチェル・カーソンの思いをつなぐ講座を企画したところ、受講者から大いに満足したとお声を多くいただいた。また、身近なところにある地道な環境保全活動の報告に対しても、受講者から高い評価をいただいた。高校生の参加もあり、活動を継続し、幅広い市民に参加いただけるよう今後も努力したいと思う。

受講者の声

- ・きれいな映像、素敵な絵、わかりやすいお話、素晴らしかったです。
- ・ミツバチの生態が理解でき、ネオニコチノイド系農薬のリスクなど学ぶ良い機会となりました。（第1回）
- ・長い時間をかけての活動への想い、大変さ、成果などとても分かりやすく拝聴させていただきました。
- ・名古屋の池ということもあり身近なテーマで親しみやすく良かったです。（第2回）
- ・名古屋の環境について知らないことがたくさんあり、意欲を掻き立てられました。（第3回）

～勿体ないを家庭から～編む・織る・染める～

B-24 手あみ生涯学習ぐるーぷ

持参品→ジャケット・サマーセーター・反物・手あみ未完成・襟付きブラウス・細みTシャツ

★アフター→襟無しジャケット・袖なしベスト・チュニックベスト・バンドカラーえりブラウス・2枚Tシャツを1枚へ幅広・外来駆除植物【オオハンゴソウ花染め】・懐古バック・裂き編みマット…楽しみました。

★ドイツ3年在住のゴミ出し分別(移住～帰国)、ニューヨーク5年在住のゴミ出し分別話題に【都会の鉱山・自然との共生など…】



講習景



オオハンゴソウ花採集 染液を抽出前

企画・運営者の声

- ★デザイン替え→襟を外す、色変え、袖を外す、元の形を活用
- ★残り糸はモチーフを繋ぎながら色とりどりを編む
- ★虫食い・シミ、汚れ→小さなモチーフ、運針(刺し子)鎖(チェーンステッチ)など自由に針刺しを楽しみました(花採集も気持ち良い空気ですよー(^◇^))
- ★参加者の持つ捨てられない!活用したい!気持ち!思い出聞くのも、毎回うれしくアフターの楽しみを共に体感します。

受講者の声

分別をさらに進める心がける。捨てず楽しむ。解り易い説明。環境良い?事、継続出来ればうれしい(^◇^)。仲間と楽しむ・話題に困らない。他にもやりたい事見つかる等。チョットした自分に出来る事で長持ち出来、捨てられない!!バリエーションがある事を学びました。

防災自助共助・身に付けよう ～生き残ろう

B-25 名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク

いつやって来るか? わからない南海トラフ地震に備え、自らの自助・共助力アップを計り、楽しみながら興味を引く、考える防災啓発講座です。



企画・運営者の声

普段関わりのない方々との講座で楽しめた体験型だったのでやった感があった。

受講者の声

十分勉強になった。

「食×国際交流」! 世界の料理で環境を学ぼう♪

B-27 ノートルモンド名古屋

第1回(中国講座)、第2回(メキシコ講座)は、後期への延期も企画しましたが、新型コロナウイルスまん延による緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置などのため、開催できず中止いたしました。第3回の防災をテーマにした回だけ開催できました。第3回では、防災をテーマに身近な防災と環境について、防災ママかきつばたの代表を務める高木一恵さん、愛知県在住のブラジル出身の元留学生であり現在は2児のママであるBrenda Olivieraさんをお迎えしオンライン(Zoom)で開催しました。



第3回「身近な防災と環境について考えてみよう」の開催の様子

なごや環境大学 Zoomで開催!!

「食×国際交流」! 世界の料理で環境を学ぼう♪

身近な防災と環境について考えよう!

子どもがいる家庭が備える防災について学び、関連する環境問題を学び考えます。また、ブラジル出身のママからお話を聞き、世界と日本の防災の考え方の違いを知り、SDGsの視点から考えよう。

日時: 2021年9月23日(木) 19:00~20:30

会場: Zoom オンラインで開催

申込み方法: 下記いずれかお選びください。①
duguch1103@yahoo.co.jpへメール
②Facebook「ノートルモンド名古屋」にご覧いただき「メッセージ」送信
※氏名・年齢(学生のみ)・連絡先(電話・メールアドレス)を聞いて返信してください。

講師: 防災ママかきつばた 代表 高木一恵
ゲスト: Brenda Oliviera (ブラジル出身・2児のママ) フシリダーター: 出口 志穂

●オンライン開催! お子様、学生、親子を中心に、防災に関わったことがある方もない方でもどなたでも参加できます!
●Zoomなので、愛知県だけでなく、全国・世界からご参加可能!
●お申込みは9月18日(土)までとします。(9月19~22日にZoomのURL/ID/PWを参加者へメールでお送りします。)

主催・申込先: ノートルモンド名古屋
<http://www.facebook.com/NotreMondeNagoya/>
<https://www.n-kd.jp/calendar/lineup/koza21s/B-27.html>

第3回「身近な防災と環境について考えてみよう」のチラシ

企画・運営者の声

代表者自身が持つ様々な食に関する資格と経験、国際留学生会館イベントボランティアをはじめとする国際交流、長年取り組んできた育児支援団体での企画運営力、そしてフランスに家族と暮らした経験を生かして、「食と国際文化と子ども」をテーマとする交流のコミュニティを2015年11月1日に立ち上げました。行ったことがない国の文化を料理を通じて知ることによって、それぞれの国によって異なる豊かな自然についてや大気汚染、土壌汚染、水の問題を聞くことによって日本との違いに気づき参加者のエコ意識が高まりました。また、元留学生であり愛知県在住の現在2児の母であるブラジル人のゲスト講師も、母国の環境と実情を紹介する機会に喜び責任感と持って仕事をすることができました。2022年度前期も引き続き開講します。

受講者の声

- ・オンラインなのでコロナ禍でも安心して参加できた。
- ・子どもが赤ちゃんなので現地開催には出かけるにいが、オンラインなので子供の世話をしながら参加できた。
- ・行政で防災に携わっているが、外国の事例はほとんど聞かないので、大変勉強になった。

楽しく学ぶフェアトレード（通常開催／オンライン開催）

B-28 名古屋をフェアトレード・タウンにしよう会

甘くて美味しいチョコレート。どこでどんな人達が作っているかご存知ですか？

また、原料となるカカオがカカオトル（神様の食べ物）からどのようにしてチョコレートに変遷してきたかの歴史も振り返ります。

また、チョコレートを通して、児童労働、南北問題、フェアトレードについても学びます。



7月24日 会場開催。

企画・運営者の声

- ・会場での開催は一年半ぶりでした。オンラインと異なり、参加者の反応がダイレクトに分かるので、充実感がありました。ただ、久しぶりでプロジェクターが使えないことが当日になって分かり、プロジェクターの代わりに外付けディスプレイを使ったので、参加者の方が見づらかったのは反省材料です。
- ・Zoom開催は、オンラインらしく、岩手、埼玉、神奈川、東京、千葉、愛知、三重、大阪、香川、福岡、佐賀と全国から集まりました。また、カメラオフなので、最後の一言感想まで気づけなかったが、10歳や12歳という若年層の参加もあり、コロナ禍でも安心して参加できるZoomの良さを感じました。

受講者の声

- ・児童労働の問題は聞いたことがありましたが、自分とは遠く離れた世界で起こっていると、なんとなく思っていました。自分の生活に深くつながっていると知って、とてもおどろき、悲しくなりました。私は、児童労働をゼロにすることは難しいと思います。でも、みんなが考えて行動すれば、減らすことはできるはずで、これからもたくさん知って、どうすればいいか考えたいです。ありがとうございました。
- ・私は児童労働の話が一番心に残りました。同じような年齢またはそれ以下の年齢の子供達が学校に行けず、大人に騙されてお給料も貰えず働いていることを知り、驚きました。悲しい気持ちになりました。私は今回の講座でこのような世界の現状を知ることができたけれど、知らない人もたくさんいると思うので、この現状を変えるためにもまず知ることが大切だと思うので、文化祭では頑張りたいです。
- ・フェアトレードに関しては概ね知っていたが、チョコレートの歴史に関しては知らなかったのが面白かったです。また説明も分かりやすく、理解できました。

テクノロジーカフェ

B-29 公益社団法人日本技術士会中部本部・中部倫理委員会

テクノロジーカフェは、サイエンスカフェの技術者版です。カフェのようなリラックスできる空間で、現役の技術者が最先端技術について、わかりやすく解説します。

コロナ禍で、純粹にWeb講座にした回がございます。特別なスキルがなくても参加できることがウリでしたので^{じくじ}忸怩たる気持ちです。副作用として、海外からの参加も可能となり、時差があるであろうドイツからの参加という方も見えました。

また、毎月開催を標榜しておりますが、講師が集まらず、前期は4回のみ開催でしたが、バラエティ豊かな講座になったと思います。



6月度のテクノロジーカフェの様子



Web用の機材、スピーカフォンを導入しました。(右テーブルの端にある丸いもの)

企画・運営者の声

中部倫理委員会の前身であるETの会は、技術者倫理の研究を通じて、技術士個人の資質向上と研鑽に助けとなることを目的として発足しました。中部倫理委員会は、そのETの会の志を継承しています。研究成果の発表を通じ、技術士の社会的認知の向上を目指しています。コロナ禍での運営は、組織内でも議論が出ました。できれば中止したくない、しかし受講者と会場の飲食店には迷惑はかけられないということで、Web開催を導入してます。感染対策も考慮の上、開催に向けて検討していきたいと思っています。

受講者の声

お話は一般素人にもわかりやすく面白かったです。が質問・話し合いコーナーになると一気に難しくなって置き去りになりました(笑)。食料、医薬品の社会性について、知識を得ることができた。分かり易い説明で、大変興味深い講座でした。機械が間違える事を数学的に解明するところはおもしろい。素人なりによくわかって参加できてヨカットです。技術の進歩の情報にちゃんといついていかないと思いました。技術者の皆様ガンバレー！早く原発を収束させてー。

あなたも地球エコ防衛隊になろう！

B-30 地球エコ防衛隊

2021年前期「森は大きなスーパーマーケット」（SDGs15・12・13）で生態系保全と自然環境を、「楽しいエコ工作やってみよう！」（SDGs12・13・14・15）で家庭から出るごみについて知り、楽しい工作で地球を守る活動を行います。自由研究の手助けになるよう夏休みに開催します。



6/12 天白公園で森の恵みを専門家から学びました。



7/31 ヒルズウォーク徳重店で、お店探検の後、牛乳パックでハガキづくりを体験しました。

企画・運営者の声

森からゴミがでません。森と生き物の「ゴミを出さない暮らし」を知り、次にお店に行く事で森と自分たちの暮らしを対比していただく講座にしました。

子どもに引率した親からも関心が集まりました。あたりまえだと思っている暮らしの中にも気づきがあったのではないかと思います。

受講者の声

- 森の探検で自然を楽しみ、ゴミを出さない勉強につなげた講座で大人も子どもも楽しい講座でした。
- 説明がわかりやすかった。
- 商品の裏のマークが色々あることを知れて良かったです。
- 自由研究に使いそうで良かった。
- とてもいいお話しだった。地球だけでなく、家族も守れる内容だった。
- 実際に商品を見て、説明を聞いたのが良かった。
- 身近な製品についているマークを通していろいろな努力が行われていることがわかりました。

ごきそテクノカフェ ～オンラインでSDGsについて考えましょう～

B-31 名古屋工業大学ごきそ技術士会

「ごきそテクノカフェ」は技術士という国家資格を持つ様々な分野の技術者などが講師となって、技術に関わる話題について座学と質疑応答を通じ、技術者と市民の皆様との対話の場をご提供するものです。市民の皆様には最新の技術がもたらす効果や影響をご理解頂けるよう、分かりやすく説明させていただきます。また技術者の側は市民の皆様の持つ期待や不安について知り、それに対して説明責任を果たすための一つの機会としています。

毎回「SDGs」を切り口としたテーマで開催しており、1回完結型なので、1回だけ、またはご興味のあるテーマのときだけのご参加もできます。コロナ禍が収束するまではZoomを使ったオンライン開催としています。



ごきそテクノカフェのZoomを使ったオンライン開催の実際の様子(9/18)

本テーマにおけるSDGsの目標

11. 住み続けられるまちづくりを



・都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

・都市と人間の居住地を、誰一人置き去りにすることなく、安全、強靱かつ持続可能にする

ターゲット

11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する

6/19開催のごきそテクノカフェで使われたスライドで講演とSDGsとの関係を示したもの。

企画・運営者の声

オンライン開催は2020年度前期(7月・9月)の試行錯誤を経て、2020年度後期から軌道に乗せることができたので、2021年度前期は全く問題無く開催ができた。2021年7月は、講師の石川英司氏の怪我(大腿骨に障害をお持ちだったが、その大腿骨が骨折した)による入院でやむなく中止した以外には特にトラブルはなかった。企画・運営する側も、参加する側もオンライン開催に慣れてきたことは大きかった。参加人数は2020年度後期から大きくは増えていないので、さらなる広報手段の検討が必要と考えている。一度参加した方には、継続して案内を電子メールで配信している。コロナ禍収束後には、対面+オンラインという形態に移行したいと考えているが、その具体的な検討を開始したい。オンライン配信には5Gのモバイル通信の活用も考えたい。

受講者の声

素人でも分かる優しくて、わかり易い話で、十分理解ができました。
街づくりへの意識が高まると良いと思います。
以前から興味のあった山車、からくりなどの伝統文化を科学的に聴くことが出来た。
全く初めてのお話で満足しています。
映像が豊富でトンネルの工法が理解しやすかったため、後半の危機管理の捉え方の話が興味深かったです。
廃棄物の分類と処分ルールが理解出来ました。
廃棄物処理の基本知識が得られました。
産業廃棄物の処理の流れがわかってよかった。

都市近郊田で、無農薬のコメ作り、生きもの豊かな田んぼ作り

B-32 NPO法人日進野菜塾

田んぼは里地里山の中核的存在であり、田なくして「里地里山」はない。しかし今日、米の消費が減り、田んぼの持つ生物多様性と、意義・関心が失われてきている。そもそも体験できる場がなくなっている。そのため本講座は、①田んぼでの栽培プロセスの体験機会を用意 ②生物多様性の豊かな恵み、無農薬・有機栽培方式の重要性を実地で学ぶこととした。

全体で10回を組み、そのうち草取り参加者を増やすため、参加回数に応じて、収穫米を渡す仕組みとした。参加者は「自分の田んぼ」という意識を持ち、最後まで熱心に取り組んでくれた。来年も参加したいという声も多く聞かれた。



除草剤を使用しないので、手作業で根気よく草取りに取り組んだ。(7/18)



草刈ガマで手刈りした稲を、木と竹で作成した「ハザ」に天日干し。(10/10)

企画・運営者の声

無農薬栽培米の最大の課題は、いかに雑草を防ぐかにある。そのためには継続して草取りに参加してもらう必要がある。前回同様に、参加回数に応じた量の収穫米をお渡しする仕組みを継続。その結果、草は抑えられ、参加者の意欲、参加率とも大幅アップ。米の収穫量も良好で、望ましいこととなった。この仕組みを今後とも継続したい。「こうすれば無農薬栽培米」方式を教訓化して、一般に開示、多くの人、団体が取り組めるようにしたい。

受講者の声

- 田植えから収穫まで一通り体験できて楽しかった。思っていたよりも分かりやすかった。お米がたくさん収穫できて良かった。
- 説明が十分だった。お米ができる過程が良く分かった。
- 毎回、綿密に準備して下さり、とても感謝しています。
- 念願の田植えを泥んこになって、家族と一緒に経験できて満足。生き物との出会い、米作りの大変さ、本当に良い経験をさせて頂き、感謝しております。
- 数回程度の体験ではなく、10回をしっかりと学べるカリキュラムが良かったです。多くの人にも受講をしてもらいたいのので、今後是非この講座を継続して頂きたいと思います。

環境エネルギー塾 (オンライン限定講座)

C-01 中部電力株式会社

2021年8月19日・9月2日、環境とエネルギーに関する講座を開催しました。

カリキュラムは両日、講義・現場見学・グループワークをオンライン (Zoom) にて実施しました。

- ①講義は、「電気事業について、気候変動に係る国内外の状況、そして中部電力グループの環境への取り組み」を説明
- ②現場見学は、浜岡原子力発電所から「原子力発電の仕組みの解説や実務訓練の様子を中継」
- ③グループワークは、「2050年脱炭素を国全体で達成するためには何が必要か」について議論



左上：講義の様子 (手前画面に受講者)
右下：各グループをファシリテーターする社員の様子



浜岡原子力館の設備 (模型) を用いて原子力発電所の仕組み説明をする様子

企画・運営者の声

本講座は従来、現場見学体験およびグループワーキングという、集合型で開催してきました。今年度は、コロナ感染状況が続いていても参加してもらえる企画を計画したいと考え、カリキュラム全てをオンライン化しました。オンライン化を企画するにあたっては、単なる受講で終わることのないよう、参加者ひとり一人が発信することで参加度合いが高まるような仕掛けをしました。またカリキュラム1つ1つ、限られた短い時間の中で、何を達成することができるか参加者目線を大切にしました。学生の皆さんの積極的な参加のおかげもあり、オンライン上での関わりでしたが、学生間だけでなくファシリテーター役の社員とのコミュニケーションが豊かな講座となりました。

受講者の声

- ・ 電力エネルギーの将来展望や、同世代の方々との意見交換を通して、エネルギー業界に携わり未来の生活を支えていく仕事についての理解を深めることができた。
- ・ 解決が難しい世界規模の問題に対して様々な角度から意見交換でき、とてもためになった。グループワークを通して自分では思い浮かばなかった意見を聞くことができ、考えの幅を広げることができた。
- ・ 学生だけでなく、社員の方を交えたグループワークであったため、様々な意見を聞くことができ、カーボンニュートラルに関して再度考え直す良い機会となりました。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で実際に現場を見学したりする機会が減っているなか、ライブ中継により浜岡原子力発電所を見学し、貴重な体験ができたのでとても満足しています。

なごや近郊の森 de セルフケア

C-03 prana (プラーナ)

コロナウイルス感染症が瞬く間に私たちの生活に影響を与え、日々の生活の中で不安やストレスを感じる人が増えているような気がしています。この講座では、自分をケアする＝セルフケアする時間を森林セルフケアという手法で提供します。今回は名古屋市近郊の森ということで、みよし市の「三好丘緑地」という樹林地にて行いました。樹木の近くで瞑想したり、寝転んで空を眺めたり、自分だけの時間を持つと、とってもリラックスします。その日の天候に合わせたプログラムの構成により、五感を使って自然の恵みを味わうことができます。ハーブティを味わう、アロマクラフトづくりも森の中で行いました。心身を緩めて穏やかに自分と向き合いながら、名古屋市の自然環境、生物多様性、私たち自身が自然の一部であることもお伝えしました。



素足で歩くアーシング。足裏でコケや芝生や野草の感覚を味わいます。



森の中で、大切な自分へ絵手紙を描きました。

企画・運営者の声

2020年度後期に引き続き、森林セルフケアを取り入れたプログラムを開催できて嬉しいです。今回は名古屋市近郊のみよし市内の雑木林にて屋外プログラムとしました。郊外の住宅地にある緑地はとても貴重な場所となっていることにも自然と目を向けるような構成としました。森に入ると、一面新緑に囲まれて野鳥のさえずり、風の音、雲の流れ、太陽の光を感じ、呼吸やストレッチで大切な自分を癒し、整えることで表情が和らぎ、緩んでいき、自分も自然環境の一部であることがスーッと受け入れられています。画用紙を配り、「自分への絵手紙」を描いたり、その時気に入った香りでスプレーづくりをしたり、ハーブティでほっと一息ついたり、と、あわただしい日常の中での貴重なひとときを過ごすことができるよう、工夫しています。身近な自然への感謝、大切にしたい思いを育むことへつながると確信しています。

受講者の声

木に囲まれることがほとんどないのでながらのプログラムで、気持ちが良かった。体験型でとても良かったです。身近な素晴らしい場所でエネルギーをもらえました。内容が新鮮でわかりやすかった。癒された。興味がある内容、お土産も嬉しかった。秋の講座も参加したい。

第30回 環境フォーラム「水の未来予想図」

C-04 株式会社 エステム

第30回目の環境フォーラムでは、「水の未来予想図」と題して、普段私たちが当たり前に使っている水事情について、講師の方（沖氏：東京大学総長特別参与、橋本氏：アクアスフィア・水教育研究所代表、中村氏：名古屋大学大学院准教授）に講演していただきました。沖氏には、「バーチャルウォーターやSDGs」について理解を深める事例を紹介していただきました。橋本氏には、世界の水事情について理解して頂くため、開発途上国を中心とした事例を紹介していただきました。座談会では、中村氏がファシリテーターとして、「水インフラの役割」や「如何にして私たちが問題を自分事として捉えられるか」など、身近に落とし込んで議論していただきました。また、新たな試みでオンラインで開催し、後日録画視聴できる期間限定配信を行いました。



沖氏講演の様子です。(オンライン配信)



対談形式の議論の様子です。(オンライン配信)

企画・運営者の声

1. 講演会について

大変な情勢の中、多くの方々に参加いただき感謝しております。今回の講演を通じて、当たり前の日常について考え直すきっかけになれば幸いです。世界や日本の水事情に精通し活躍されている講師のお話を聞くことができ、未来の子どもたちが安心して暮らせる環境創りの一助になる行動をしていければと感じました。

2. オンライン開催について

初めてのオンラインでしたが、有意義な試みになりました。以前は会場のみ開催のため、名古屋市周辺からの参加者が多く、大きな会場では座席によって講師や画面が見えづらかったり、聞こえにくいことがありました。アンケート結果から、遠方からの参加者が非常に増え、講演内容を聞きやすくなったという声をいただき、課題が改善された面を感じられました。今後は、より多くの方に参加いただけるよう会場とオンラインで開催していけたらと感じます。

受講者の声

- ・大きな目標と地道な活動とをどうつなげていくか等ヒントを頂けた。
- ・水処理に対して「水を綺麗にするためだしもう少しお金やエネルギーを使ってもいいんじゃないかな」といった考えに寄ってしまっていたましたが、水の問題が食料やエネルギー問題にも関わってくるという事を学んだことで、今後の仕事はもう少し視点を増やして多角的に考えていこうと思いました。
- ・初めてのオンライン開催であり、どうなのかと思って視聴しましたが、パネル画面も見やすく、聞き取りやすく、思っていた以上に内容が伝わってきました。参加が容易であるのと十分にメモを取る態勢がとれたので、内容に関しましても非常に勉強になりました。
- ・ZOOMで開催地から遠方の自宅から視聴できたことが大変良かった。

【植物の魅力】を体験しよう！

C-05 名古屋市みどりが丘公園

「こどもの日」に自然豊かなみどりが丘公園で、昔懐かしい竹のおもちゃを作ったり、竹を加工してオリジナルの竹鉢に季節の花を植え付けたりして楽しんで頂いた。



R3.5.5 みどりが丘公園会館
「竹鉢寄植え教室」
竹を切ってオリジナルの鉢を作り、花の寄植えをしました。

企画・運営者の声

自然豊かなみどりが丘公園で、竹を加工してオリジナルな竹鉢を作って季節の花を植えて楽しんで頂いたり、子供の方には竹を加工して、昔懐かしいおもちゃを作って遊んでもらうことができます。



R3.5.5 みどりが丘公園会館
「竹のおもちゃ教室」
竹を加工して昔懐かしい竹のおもちゃ（竹トンボ・けん玉）を作り楽しんで頂いた。

受講者の声

【竹鉢寄植え教室】

1. 竹を切ったり穴をあけたりが楽しかった。
2. 竹を切るのが難しかったけど、すごく楽しかったです。お花も綺麗でうれしいです。

【竹のおもちゃ教室】

1. 竹を使って作る体験は良かった。
2. 今後も参加したい。

田んぼ体験しよう！～昔ながらの農具を使って～

C-06 戸田川緑地管理センター

稲作が盛んな名古屋市港区にある公園「農業文化園・戸田川緑地」の体験水田で、田植え、草取り、稲刈り、脱穀までを昔ながらの農具を使い、作業を行います。除草剤等を使用しないため、様々な生き物が生息している環境です。ぜひご参加ください。



田植えをした後の大切な作業、草取りも体験します。



刈ったイネは自分で縛って、ハザに掛けて乾燥させます。

企画・運営者の声

- ・体験だけで終わりではなく、除草剤を使わない環境で、どんな草が生えるか、どのくらい生えるか見ていただくのも体験学習の1つだと考え、どうして草取りをするのかも考えてもらいました。
- ・自然を相手にするので、天気（気温の高さや雨の状況など）、参加人数と作業量、時間のバランスは、実施する中で参加者の様子を見ながら考え、調整しました。
- ・親子で参加される方が多く、直前キャンセルや、連絡なくキャンセルされる方もいますので、募集40名ですがそれ以上に当選者数を設定しました。結果、コンスタントに参加されたのは30名強になりました。
- ・親子参加が多いので、運動会などが重なると参加者がぐっと減ります。当方も自然相手なので日程変更することはなかなか困難ですが、参加者が参加しやすい日程を組めるようにしていきたいと思っています。

受講者の声

- ・生きものがたくさんで良かった
- ・うえるからかるまで手でできてたいへんだっただなとおもった
- ・子どもとはなかなかできない体験ができた
- ・話を聞くだけでなく体験が十分で良かった日常生活で経験できない貴重な体験だった
- ・田植えから草取り、稲刈り、脱穀を手でやってとても良い経験ができました

なごやの建設屋さんとエコアクションを体感しよう！

C-07 一般社団法人 名古屋建設業協会

「緑あふれる」「災害に強い」、そんな市民の街づくりの夢を大きく豊かにしてもらうために、自然を体感し、エコアクションについて考える講座を企画。「まちの建設屋さんと工事現場を訪れよう」と題した第2回、参加者は16名（うち子供5名）で、中区松原にある「広域河川堀川改修工事」の現場を見学。



企画・運営者の声

今回の講座は、実際に工事が行われている現場を市民の皆さんに訪れてもらい、最新の施工技術や環境に配慮した施工方法等について、我々「建設のプロ」が徹底解説しようと言うものです。とにかく環境に悪影響を与えていると思われがちな建設業ですが、さまざまな取り組みによって環境への負荷を最小限に留めながら、街をつくっているさまを紹介しました。

受講者の声

- ・ドローンを使った上空からの現場の映像が大型モニターに映し出されて迫力があった。
- ・堀川に棲む生きものの紹介パネルなど趣向を凝らした内容であった。
- ・クイズ、重機の試乗など子供向けの企画もあり楽しかった。
- ・猛暑が心配されましたが、日除けテントやミストファンが用意されていて快適に過ごせました。

青空遊園 ～川の魅力を親子で体験！～

C-08 川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画

親子などの市民を対象に都市河川である堀川上流名古屋市を代表する河口域の藤前干潟において名古屋市の身近な自然を体験し、豊かであると共に厳しい自然、川の繋がり、そして歴史と文化等を体感してもらいました。身近な自然から生物多様性を感じ自然を大切にする地球人の一人として自然を育てるきっかけとなったかと考えています。



講師の生物についての話しに集中している子ども達。



水の気持ち良さを感じながら親子でサカナ捕り！

企画・運営者の声

安全で楽しく、親子で学びが多い講座になりました。上流と河口での企画を一つをにしたねらいは楽しく有意義であったと思うが学び事が多くなりすぎるようで2つに分けようかと考えます。

受講者の声

- ・堀川の上流と庄内川の河口を体験出来て楽しかったが自然環境が違い過ぎてとまどいました。
- ・ザリガニがたくさん取れて楽しかった。
- ・先生の話が勉強になりました。
- ・親子で楽しめ、いろいろな事を学べました。
- ・来年も参加したい！
- ・暑かった。
- ・河口ではゴミがすごく臭かった。

夏休み特別企画 東邦ガス親子環境講座

C-09 東邦ガス株式会社

東邦ガス ガスエネルギー館とビオトープ広場での、座学とビオトープでの生き物観察、体験活動を通じて生物多様性について学んでいただく親子環境講座。参加は6家族14名。

コロナ禍での開催のため、座学では、動画視聴により、ビオトープ、生物多様性を説明し、ビオトープでの生き物観察、体験活動は、班分けをして家族以外との距離を確保するように実施するなど工夫して開催。

更に、オプション企画として（一社）ビオトープネットワーク中部の宇野副会長によるカブトムシ・クワガタムシの説明と、参加者プレゼントを実施。



7月27日 東邦ガス ガスエネルギー館ビオトープにて、「がさがさ」を体験する参加者



7月27日 東邦ガス ガスエネルギー館ビオトープ広場にて、採取したやごを分類する参加者

企画・運営者の声

生物多様性は、説明だけでは難しく、毎回ビオトープに入り、ヤゴを捕獲の体験活動を取り入れ、生き物観察してもらって、体験と知識を結びつけ、理解促進を図っている。今年度は、コロナ禍での開催で、ビオトープ体験の進め方等に制約があり、班分けしたり、家族間の離隔を確保したり工夫と配慮を要した。

参加者アンケートからも、体験によって多く感じ取っていただけたこと、また参加したいとの声をいただき、人数を限りながらもリアルで開催できたことに意義を感じた。

受講者の声

アンケートより（子供）

- ・虫がかわいいのもありました。生きものを探すのが楽しかった。
- ・もっとたくさんのいきものを取りたかった。こんどはせみのことをしりたい。

（保護者）

- ・絵や映像もあって、とてもわかりやすかったです。
- ・ヤゴに触れるのが初めてだったので良かった。体験できた事が、子供の為になった。
- ・池の中に生息するものを見る機会がなかなかない中、今日はとても良い体験ができました。
- ・自然に近いビオトープで自然保全を推進されている企業努力が素晴らしい。子どもがとても喜んでいて、また、参加したい。

夏休みの自由研究!! ～蟹江町で自然観察しよう♪～

C-10 株式会社 加藤建設

今回の会場は、2017年まで当社の資材置き場として利用していた跡地になります。

佐屋川に隣接しており、開放的な空間となっているため、生物の棲み家としては最適な立地環境といえます。

そこで、この土地を自然に還すため、同年7月よりビオトープ（生き物が住める空間）を造成し、希少種や在来種の保護、植樹などを行っています。

今回の講座では草地エリア、水辺エリア、森林エリアの3つに別れて、それぞれ生物採取体験や観察をしていただきました。また、生物多様性についてレクチャーし、環境保全の大切さも併せて説明しました。

あっという間に終わってしまい、楽しいひと時を皆さんと共有できましたよ。



水辺エリアの観察



集合写真

企画・運営者の声

虫やカエルを触れない親子が増えており、理科離れも深刻化する中で、今回ご参加いただいた皆さんは、積極的に生き物を採取し、五感を使って観察して頂きました。

講座では、環境保全の大切さや生物多様性についてもご説明させて頂きましたが、真剣に講師の話を聞く様子も伺えましたので、私たちスタッフも嬉しく思います。

参加者の皆様におかれましても、暑い夏の思い出が作れたのではないのでしょうか。

次年度も開催しますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

受講者の声

説明が分かりやすく、いろいろ体験できて良かった。

図鑑ではなく、本物の生き物が見れて、子供たちが喜んでいました。とても嬉しく思います。ただ虫を採ったりするだけでなく、詳しい説明があってよかった。

草エリア、水辺エリアがとても盛り上がりました。エリア別に植物・昆虫・魚の説明が詳しく聞けて楽しめました。

子どもにも丁寧に説明し、案内してくれたスタッフの皆様、ありがとうございました。

きみもプラネタリアン! ~やってみよう、こどもプラネタリウム解説~

C-11 アクティオ株式会社 名古屋営業所

半田空の科学館のプラネタリウムで、こども解説者を養成するプログラムです。プラネタリウムや星空、そして環境との関わりについても勉強し、個人やグループでプラネタリウムのプログラムを作り上げます。そして最終日には施設に来場しているお客様にプラネタリウム解説を行います。



2021年度のジュニアプラネタリアン



プラネタリウム見学

企画・運営者の声

今回は、コロナ禍で「移動式プラネタリウム・星たまごプラネタリウム」が使えなかったため、本物のプラネタリウムを使って、解説ができるように調整し、場所が移動、3日目の日程だけ変更となりましたが、本来なら体験できない本物のプラネタリウムでの解説と、矢印の操作、星座絵の投影などを行ってもらいました。一般の方にも無料で入っていただき、子どもたちの解説を聞いてもらったことで、こどもたちは満足した様子でした。

受講者の声

本物のプラネタリウムを操作出来て、とてもうれしかったようです。この夏の一番の思い出です。3日間、大変お世話になりました。親子で貴重な体験ができ、うれしく思っております。CD(録音解説音声入り)も素敵な思い出になりました。大切にしていきます。このあとじっさいに星を見に行きました。

びん、缶、ペットボトルのリサイクル

C-13 愛知県再生資源団体連合会

- 1 会場 (株)石川マテリアル緑リサイクルセンター (緑区鳴海町字杜若20番地)
- 2 日時 令和3年7月30日(金) 午後1時30分から午後2時30分まで
- 3 講座の内容
 - ①会場である(株)石川マテリアル緑リサイクルセンター等の説明
 - ②出窓より工場内見学
 - ③「びん、缶、ペットボトルのリサイクル」のDVD鑑賞、現物に触れながらの説明
 - ④質疑応答
- 4 参加者数 16名 (内3名が小学生以下の子ども)



7/30 (株)石川マテリアル緑リサイクルセンター研修室でDVDのクイズに答える受講者



再生過程の現物を見て触れて、質問をして説明を受けている受講者 (同日同会場)

企画・運営者の声

コロナ禍ではありましたが、受講者、運営者ともにできる限りの感染拡大防止対策を講じた上で安全に開催することができて良かったです。人数制限をしたため、少人数の参加となりましたが、DVDは親子で楽しみながらリサイクルについて理解を深めるのに役立ったと思います。時間配分もうまいき、参加者には満足してもらえたと思います。

受講者の声

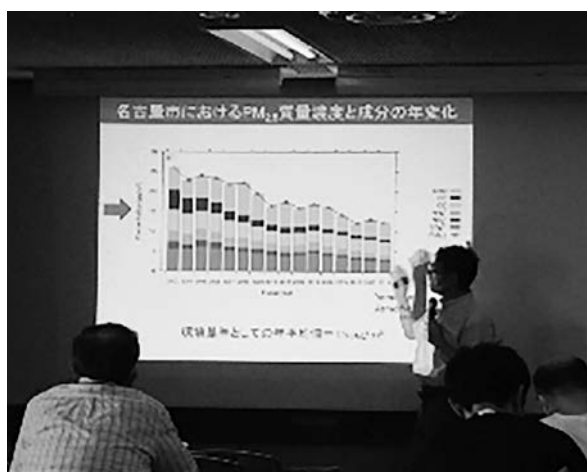
- ・クイズを交えたDVDの説明は理解しやすかった。
- ・親子で話し合うきっかけになった。
- ・工場の内部を見ることができてすごく実感できてよかった。
- ・障がい者雇用もされているとのこと、できるなら広げてほしい。
- ・熱心な講師に感心した。

【公開講座】名古屋の空気は綺麗になったのか？

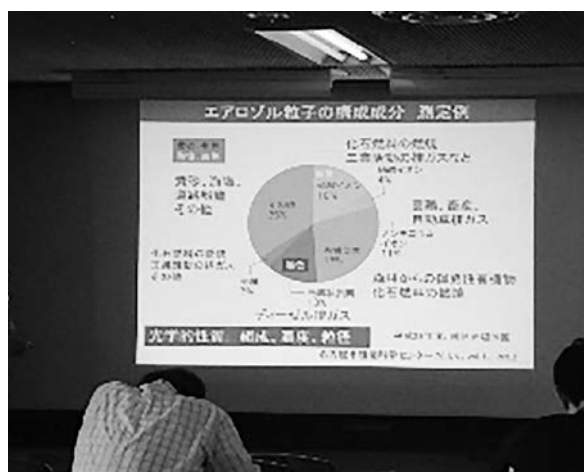
E-01 瑞穂生涯学習センター

空気に含まれる微粒子が与える影響を中心に学び、それらが及ぼす人体への影響や空の色、気候に関わる内容を学びました。撮影した名古屋の上空写真を実際に見ながら、微粒子に関連して、花粉やPM2.5など身近に聞くワードを絡めた解説をしていただきました。

また、南極での観測結果も交えて、数値・写真から名古屋の空気と比較し、空気の質に関して理解を深めることができました。南極観測については、観測チームの構成や航路等を細かく解説していただき、こういった場所での結果なのかを深く学ぶことができました。



名古屋におけるPM2.5の成分と濃度の変化について解説する様子



空気に含まれる微粒子の成分について解説する様子

企画・運営者の声

空気中に含まれる微粒子について、今まで漠然と人間が悪影響を与えている微粒子を生みだしていると考えていましたが、人間以外にも多くの発生源があり、それは人体だけでなく気候にも大きな影響を及ぼしていることが学べました。また、南極の観測についての内容では、観測結果の他に観測隊の航路や構成、現地での過ごし方などを細かく解説していただいた内容が面白く、資料だけでは知りえない内容を学べたのは貴重でした。

講座の途中、空気に関わる内容として、空気中の二酸化炭素を測定する機械を講師が持参しており、それにより室内が換気されているかの観測ができるということで、コロナ禍の今だからこそ関心度の高い内容も聞くことができました。

受講者の声

- ・環境を守る為に市民ができる事が分かりやすい様に今後もこういった講座を開催していただきたいと思います。
- ・現在SDGsを国連が提案して日々が過ぎていますが、なかなか一般にはまだまだ広がっていかず意識が少ない方々もおられます。
- ・こういった講座は地球温暖化防止を考える意味でももっと計画をしていただけたらと思います。

【公開講座】気候変動の歴史をさぐる

E-02 天白生涯学習センター

豪雨の頻発、大型化する台風、氷河の急速な後退など、昨今取り沙汰されている気候変動はどのくらい異常なのか、それは長い気候史の中でどのように位置づけられるかを気候変動の歴史から概観することで、環境問題についての関心を高めます。



水文学、古気候学を専門とした講師よりお話を伺いました。



気候変動の歴史は年輪、古日記など様々な物からさぐるができることを学びました。

企画・運営者の声

古日記の天気記録や南西諸島などでの年輪気候学を研究されている講師より、気候変動の歴史について学びました。前半は、過去の気候変動をどのように調査しているかについて学び、後半は気候変動の歴史という視点から見た気候の状態と、今後の気候変動の予測について学び、気候変動には人間の活動が影響している可能性があることが分かりました。環境問題について考える良いきっかけになりました。

受講者の声

- ・難しかったがとても興味深いものだった。
- ・地球温暖化の事がよく理解できました。
- ・温室効果ガス濃度が異常に高いわりに気温が上がっていないことが分かりました。
- ・〈受講者の様子〉講座中熱心にメモをとる方がいました。最後の質問時間には2組の方より質問があり、今回の講座で疑問に思った点等伺っておりました。講座後、庄先生からの話を伺う機会が得られたことを喜んでいる方もいらっしゃり、直接講師に話しかけておりました。

めざせ!!水の環復活 ～学んでみよう、水のこと～

E-03 名古屋市環境局地域環境対策課 水質地盤係

水循環について学び、身近に感じていただくことにより、健全な水循環の復活のために各自で何ができるかを考えていただくきっかけとする。水循環や湧き水の仕組み等について学んだ後、屋外で地下水の湧出地点等を見学し、水量や水温等を実際に体感してもらう。



7月27日 「猪高緑地と水循環」にて猪高緑地内の説明をする様子



8月5日 「夏休み子ども教室」にて、鶴舞中央図書館の湧き水見学時の様子

企画・運営者の声

なごや環境大学共育講座の枠組みで講座を実施したことにより、環境への興味・関心が強い参加者を多く集客できたため、水循環について学び、健全な水循環の復活のために各自で何ができるかを考えるきっかけとするという講座の効果がより高まったと感じた。

受講者の声

- ・ 講座に参加をして楽しかった、勉強になった。
- ・ 水循環の一部である湧き水等について、実際に目でみて体感できたのが良かった。
- ・ 講座を通して環境への関心が深まった。

未来へつなぐ！池干しで守る猪高緑地の生態系

E-04 名東生涯学習センター

名東区の猪高緑地すり鉢池では、池の水を抜く池干しが予定され、池干しに向けて様々な調査が進んでいます。本講座では、ため池の大切さを知ると共に、ため池の維持や生態系回復に必要な池干しについて学びました。猪高緑地の保全に携っている講師の各分野の事前調査結果の報告を聞きました。参加者はため池の実態を学ぶことを通し、自然の重要性及び維持保全の必要性に気づくことができました。



6月2日
公開講座の様子。



7月3日
猪高緑地の植生変化の説明の様子。

企画・運営者の声

6月から10月の月1回の講座でした。初回の公開講座は22名の参加者がありました。緊急事態宣言が発出されている中にもかかわらず、毎回15名程の参加があり、関心の高さがうかがえました。質疑応答の時間にも活発なやり取りがあり、講師の方からも、より専門的な見地からの補足説明をいただくことができました。

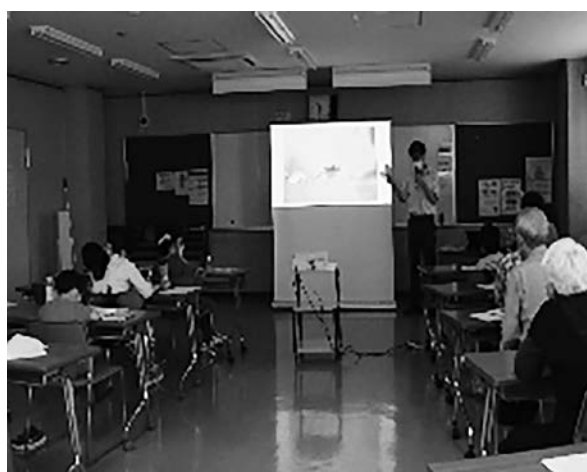
受講者の声

- ・身近な緑地が大きな役割を担っていると知り、大事にしようと思いました。
- ・身近な環境が、世界につながっているのだと思いました。
- ・猪高緑地に引っ越して来ることをきっかけに、身近な自然環境を知り、それを子どもに説明できるようになりたいと思い、参加しました。内容が面白く、刺激になりました。

多様な生き物に出会おう！ in 大高緑地

E-05 緑生涯学習センター

この講座では、大高緑地で生き物を観察したり、触れ合ったりします。何種類の生き物に出会えるでしょうか。また、四季と生き物の関係も学びます。大高緑地の自然を感じながら、みんなで生物多様性について考えてみませんか。



第1回（公開講座）
大高緑地の生物についての講義風景



第3回
大高緑地でのフィールドワークの様子

企画・運営者の声

大高緑地でのフィールドワークでは、子ども達の生き物への興味や、関心の強さにとても驚かされました。講師の先生への質問も積極的に行われ、自然と触れ合いながらリアルタイムで解説を聞くことの出来る貴重な時間を提供できたのではないかと思います。

運営側としては、今回コロナ禍での開催ということで様々な不安材料がありました。特に夏場のフィールドワークは感染予防だけでなく熱中症への対策も同時に行う為、受講者への対応はより気を付けて行いましたが、線引きが難しい部分もありました。

今回の講座では事故やトラブルなどは無く終了しております。

受講者の声

- ・子どもでも大人でもたのしめる内容でした。
- ・参加人数もちょうどよく、子どもたちも先生に直接教えていただけて沢山学ばせていただきました。
- ・虫が集まる理由やたくさんの質問を聞いてくれたので良かったです。
- ・家族ではなかなか虫取りの機会がなかったのでよい経験になりました。

【徳川園共催】昆虫王国 ～命きらめく都会のオアシス～

E-06 東生涯学習センター

東区で貴重な自然を守っている徳川園で、トンボやセミの生態について学んだり、ふれ合ったりする体験を通して、生命の不思議さや自然の大切さを実感できるようにすることをねらいとしました。

第1回は、徳川園をはじめとした都会の水辺に生息するトンボの生態や水辺環境との関係について学び、トンボが生息しやすい場所について考えました。第2回は、ヤゴを採集し、飼育器を作って飼い方について学びました。ヤゴを育てることを通して、命の大切さなどを学びました。第3回は、セミの生態や捕らえ方について学んだ後、実際に捕える体験を通して、発見する喜びや楽しさを体感しました。第4回は、ヤゴの成育状況の発表やトンボ図鑑作りを通して、身近なトンボの生活や生き物の多様性を学びました。



7/22 第1回 トンボの飛び方を説明する様子



8/2 第2回 ヤゴを捕える様子

企画・運営者の声

公開講座では、トンボの模型や豊富な資料を基に、トンボの基本の形や骨格、生態と水辺環境の関係について講義をしていただいたことで、受講者の理解が深まり、アンケートでの高い満足度につながったものと思います。

第2回以降の講座では、受講者がトンボやセミの生態、捕らえ方について学ぶだけでなく、昆虫と触れ合う喜びを実感するとともに、ヤゴを育てることを楽しみながら、命の誕生や自然環境の大切さを学ぶことができました。また、トンボ図鑑作りを通して、以前よりトンボやセミを捕える時期が早まったことや、その数が増加した原因を考えることで、地球環境の変化についても学ぶことができました。

今後も、徳川園の貴重な自然を生かした体験活動を通して、受講者が生命の不思議や自然の大切さを実感できるような工夫をしていきたいと考えています。

受講者の声

- ・ヤゴを捕まえ、教えていただいた方法で飼育し、トンボにかえすことができ、貴重な体験をすることができました。
- ・ヤゴを育てたことがなかったので、新鮮でたいへんよかった。
- ・徳川園の休館日に入れて思う存分“昆虫”に集中できました。
- ・徳川園の日本庭園には、たくさん生き物がいることを知る機会になりました。
- ・要所で地球温暖化の話題もあり、親子で考えさせられました。
- ・講座の回数ごとに成長を親子で一緒に感じる事ができてよかった。

歩いて自然を体感！公園・庭園の魅力

E-07 南生涯学習センター

名古屋には公園・庭園が数多くある。これらの公園・庭園は、市民の憩いの場でもあるとともに、まちの緑化を図るための役割も果たしている。本講座では、人の手で整えられた公園を実際に訪れ、自然の魅力を味わうとともに、緑あふれる良好な都市環境の形成に必要な今後の取り組みについて学び、自然環境への関心を高めることができるようにする。



9月9日（木）白鳥庭園で庭園作りの説明を受ける様子



9月30日（木）東山植物園で見ごろを迎えた酔芙蓉を観察する様子

企画・運営者の声

第一回の公開講座は市内にある公園や庭園について、その成り立ちなどの歴史的背景の説明や、現在に至るまでの変化の様子など詳しい話をさせていただきました。受講者の方からもっと話を聞きたいなどの声があがるほど、とても内容の濃い講座となりました。第二回からは実際に公園や庭園を訪れ、魅力や見ごろとなっている植物などの説明を受けました。講師の方々が熱く魅力を語られ、受講者の方々も熱心に説明を受けていたのでとても楽しい講座となりました。いつもと違う目線で公園や庭園を見ることができ、自然の魅力をしっかりと確かめることができたのではないかと思います。

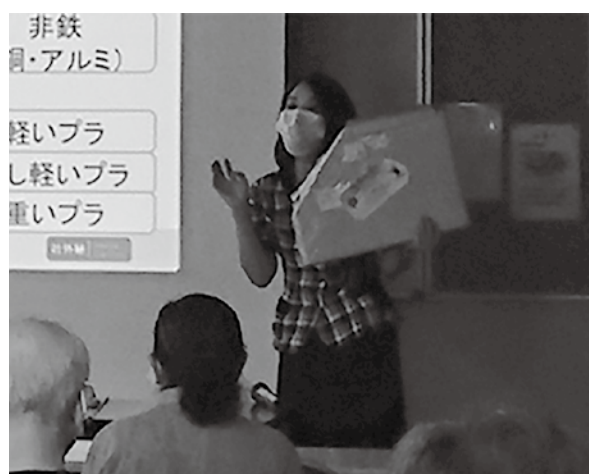
受講者の声

- ・このような講座を沢山行ってほしいと思います。
- ・とても勉強になりました。先生のお話がとても楽しかったです。
- ・もう少し回数を増やしてほしい。他の公園も巡りたい。
- ・知識が豊かでよかった。
- ・講師の方々が非常に良かった。

それはごみ？それとも資源？ ～リサイクルの歴史と現状から学ぼう～

E-08 北生涯学習センター

私たちが環境を守るためにできることは何でしょうか。この講座ではリサイクルについて、世界や昔の日本、企業の取り組みから学ぶことで、自分ができることについて考えていきました。私たちが今手にしているものはごみなのか？それとも資源なのか？その境目となるリサイクルについて学びました。



講座風景①



講座風景②

企画・運営者の声

昨今、SDGsにも挙げられるような環境問題について、世界の取り組み・日本の取り組み・昔からの取り組みなど、わかり易く説明していただきました。

便利な生活を追い求める一方で、環境にかかっていく負担や問題点を改めて認識し、学べたように感じます。

一人ひとりがより一層環境についての問題意識や関心を高め、環境問題を解決するように行動していくことがいかに大切か示唆していただいた講座でした。

受講者の声

- ・プラスチックが環境に与える影響について学び、改めて再利用が必要なものだ実感しました。
- ・中国で現在行われている、プラスチック再利用について非常に興味深いお話が聞けました。
- ・現在のリサイクルの実務事業者のお話が直に聞けて、大変参考になりました。
- ・とてもたくさんの情報があり、その知識を有効に活用していけるよう行動したいと改めて思いました。

水の歴史資料館で学ぶ 名古屋の下水道と大雨・防災

E-09 名古屋市上下水道局調査課 水の歴史資料館

日本で最初に活性汚泥法による下水処理を始めた名古屋の下水道。下水道は、私たちが使った水（汚水）をきれいにし、川へ戻すという、水環境を守るといった役割の他にも、大雨による浸水からまちを守り、私たちの安心・安全な生活を確保するといった大切な役割を果たしています。下水道について、汚水をきれいにする仕組みの実験や、下水道と大雨・防災に関する座学、施設見学などを通じて、学習でき、ご家庭や地域の防災力アップにもつながる講座としました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、9月4日開催予定の第3回は中止としました。



7月3日 第1回 下水道の役割
下水処理の仕組みの実験をしました。



8月7日 第2回 大雨からまちを守る
マンホールトイレ等の展示を見学しました。

企画・運営者の声

受講される方々の学習意欲が高く、企画・運営する側にとっても、やりがいのある講座です。3回の講座で、通して参加していただくと、下水道全般についての理解が深まりますが、個別の受講も可能としました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、定員を縮小し、グループでの実験や、受講者が実際の器具を手にとっての作業体験は見合わせましたが、講義のやり方などを工夫して実施しました。

9月4日 第3回 災害時のトイレ対策（家庭と避難所）が感染拡大のため中止となっており、残念でした。

受講者の声

- ・生活に必要な内容のお話でわかりやすかった。改善策を教えてもらったので実行したい（排水口への負担などの話を聞いたから）。（第1回）
- ・下水道の歴史が学べて良かったです。説明もわかりやすく勉強になりました。ただ、小学校低学年には少し難しかったように思うので子ども向け講座が別であると良いのではないかと思います。（第1回）
- ・名古屋の豪雨対策について知ることができよかった。情報量が豊かでよかったが、お話の進行が早くて消化できずに進んでしまい、自分の理解力にガックリ。マンホールの給水施設を実際に見学できてとても勉強になりました。（第2回）

【公開講座】脱!ヒートアイランド! ~国内外の都市緑化から~

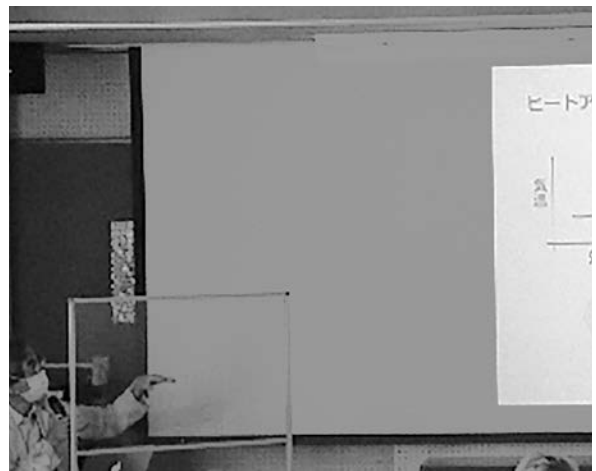
E-10 中生涯学習センター

都心における環境配慮に関する方針の一つとして、「ヒートアイランド対策」を推進することが挙げられている。本事業では、国内外における都市緑化に対する取り組みを知ること、緑化が環境へ与える効果に気づき、環境への関心を高めることができるようにする。

年々、名古屋も暑くなってきており、ヒートアイランド対策として様々な取り組みがなされています。対策の一つとして注目される「都市緑化」について、国内外の取り組みを知り、環境のことに目を向けるきっかけとしてみませんか。



受講風景（イスの配置を工夫し、ソーシャルディスタンスを確保）



堀越先生 講義の様子（マスクを着用し、講師の前にアクリル板を置いた）

企画・運営者の声

当日はかなり暑く、新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策に腐心しました。部屋を冷やすために換気は30分毎に行い、運営担当が窓・ドアの開け閉めを行いました。検温、手指消毒、整理券による連絡先の把握はもちろんのこと、マスクを着用していると体感温度が1度上昇すること、のどの渇きに鈍感になることを伝え、こまめな水分補給を呼びかけました。講義内容はやや専門的であり、アンケート結果でも「やや難しい」が多数を占めましたが、一方で科学的な根拠を明示しており、受講者の理解度は低くなかったようで、居眠りをしたり、他に気をとられたりしている人はいませんでした。ヒートアイランド現象と地球温暖化とは異なることもわかりやすく解説していました。対策としての都市緑化は、国内外の現状と今後の行政の課題を解説。受講者からは「市民一人ひとりがどう取り組めばよいか」との質問があり、理解度と関心の高さをうかがうことができました。

受講者の声

- ・ 今後もSDGsも含めて環境問題を取り上げる講座を開催してほしい。
- ・ 春日井市でもこのような講座を開催してもらえないようにできないだろうか。
- ・ 屋上緑化、壁面緑化を行うべきである。また名古屋の暑さは東部丘陵地帯で大いに救われていると思うが、その緑も年々コンクリートに変わりつつあります。制度があるのでしょうか、活かされていないのではないのでしょうか。

めざせ！サステナブルな暮らし 身近なところから実践しよう

B-33 eye opener

すてられてしまう規格外野菜問題について考える、放置竹林問題を知り、そこから活用できるものを作り出す。エコバックよりエコな風呂敷の活用方法をしり、買わなくてもいい暮らしを学ぶ。



ふろしき講座 参加者と繋がる



人参農家さんによる規格外野菜についての講義

企画・運営者の声

全ての講座で、お子様から70代と幅広い年代の方に参加いただきました。

【ふろしき講座】では海外出身の方の参加があり、日本が誇る伝統的なエコロジーライフを多くの方々に紹介できたことを嬉しく思います。

【規格外野菜を使った人参ジャム作り】では、農家さんと規格外野菜の知られざる実態を講義いただき、参加者のみなさんから驚きの声が上がりました。

【間伐竹を使った魔女のほうき作り】では放置竹林問題について初めて知った方も多く、今ある環境問題を知っていただくきっかけになりました。お子様のためにほうきづくりに奮闘する保護者様の姿がとても微笑ましく、楽しい講座になりました。

受講者の声

魔女のほうき作りから：難しかったですけど、親切におしえてもらえて楽しかったです。

ふろしき講座から：Thank you very much for a very interesting class. I enjoed it. I learned different ways of wrapping vorious things useful for daliy life thank you!

規格外野菜で人参ジャムを作ろうから：農家視点での考えが知れて勉強になった。調理する側として、また消費者として意識を高くいたいと思った。

社会と土木の「話の泉」

B-34 CE技術の会

生活環境に影響を及ぼす分野での情報提供の講座とし、聴講参加者のスキルアップに繋がることを期待した。私たちが生活する中で「移動すること」はもっとも基本的な行動の一つである。今回の講座は、この移動を担保する「交通」に焦点を当てて、生活環境との関係を考える講座とした。特徴は以下の通り。1回目は、自動車を取り巻く状況について、CASEと呼ばれる技術や情報等のデータを精査して、著しい変化の現状を分かり易く解説して頂いた。2回目は環境にやさしい交通ネットワークを確保していくための道路、鉄道が果たす役割や生活環境のレベルを維持していくための交通需要予測等についてお話し頂いた。なお、もう1回の講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の「まん延防止等重点措置」により、4月へ延期した。



2021/11/24開催、講師の話に熱心に聞いている受講者



2022/3/23開催、講師の話に熱心に聞いている受講者

企画・運営者の声

昨年に続いてのコロナ禍の最中での開催の難しさが身に沁みました。昨年に続いての年度内は2回の開催でした。1回目は、いま交通社会の中での注目されているテーマであるCASE (Connected, Autonomous, Shared & Service, Electric) とMaasの現状、またスマートシティという概念についてよく理解できたと思います。

2回目は、まずは名古屋圏を例に環境にやさしい交通ネットワークとしての道路網・地下鉄網の役割について、続いて自動車交通量が解ると何が出来るかということについて、最後には交通量の予測手法についてと受講者にとっては身近ではあっても意外と理解しにくい「交通需要」についての理解が深まったと思います。受講者からは評価して頂けたと思っています。

受講者の声

- ・大変内容のある、ためになる話でした。
- ・興味ある内容だった。
- ・新しい問題、課題について理解できた。
- ・解り易かった。
- ・道路交通量がわかるといういろいろな評価が出来るということが非常に分かり易く理解できました。
- ・身近なテーマで親しみやすい内容でした。
- ・講師の方が上手でした。

今の自分の取り組み/関心からSDGsのまちづくりへ(ワーク)

B-35 なごや環境サポーターネットワーク

ワークショップ①②を通して、①SDGsのまちづくりの構想を描き(課題の把握)、②今の自分の取り組み・関心をSDGsのまちづくりの構想に結びつけるために、何が必要であるか検討し(課題解決のための方法)、SDGsのまちづくりのイメージを共有し合います。



グループで話し合って模造紙にまとめている様子



話し合ったことを全体場で発表している様子

企画・運営者の声

- ・個人の取り組み、関心から出発し、グループの話し合い、全体への発表を通して、SDGsのまちづくりについて全員で共有し合うことができた。
- ・参加者の皆様の協力により、連続した2回のワークショップを終えることができた。
- ・目標づくり、そして、フローチャート作成により具体的な内容を考える過程を通して、SDGsのまちづくりについて考えることができた。

受講者の声

- ・とても貴重な時間を過ごすことができたと思う。
- ・SDGsを明確化して追求する道筋が分かった。
- ・具体的な目標づくりまで目がさめた。
- ・自然と共生していくために何をすべきかを知る講座だと思う。

～勿体ないを家庭から～編む・織る・染める～手あみの基礎学べます～

B-36 手あみ生涯学習ぐる一ふ&3Rグループ

SDGs個人の暮らし方を話題に、参加者持参品紹介→単衣着物・帯・サマーセーター・手あみ未完成・襟付きブラウス・残り糸、布

After→★単衣着物→作務衣・袖なしベスト・チュニックベスト ★帯→ショルダーバッグ、ポーチ等へ

最終回は実践を；共に喜びます（^◇^）

★残り糸、布→指編み、裂き編み、布ぞうり



講習風景



裂き布でゆび編み

企画・運営者の声

新規の参加者が減少傾向にある。特に去年はコロナの影響で会自体も縮小傾向にあった。今年の新規後期参加者が10名になり、その内2名が3Rグループ活動予定です。

受講者の声

個人で取り組むSDGs!! 講座のテーマ『勿体ないを家庭から～』に合う日常生活に、SDGsを意識するようにと話し合いました。捨てずに活用楽しむ。環境良い!!、継続出来ればうれしい（^◇^）。仲間と楽しむ・話題に困らない。他にもやりたい事見つかる等。チョットした自分に出来る事で長持ち出来、捨てられない!! 色々がある事を学びました。

北欧発！森の自然環境教育を英語で学んじゃおう！

B-37 森のムッシあいち

北欧スウェーデン発祥の幼児を対象にした自然環境教育です。名古屋市近郊の自然豊かな森の中で外国人の英語の先生と森の中でたくさん遊んで学びます。森の中での英語レッスンも！

親子で自然を楽しみながら自然を大切にする気持ち、身近な自然から発見する喜びを伝えています。



目隠しをして触ったものをあてるクイズをしています。



スウェーデンの椅子取りゲームをしています。

企画・運営者の声

参加者が予定より少なくなりましたが、その分密にコミュニケーションがとれたこと、参加者さんがリラックスして参加していただけたことがよかったと感じています。今後も親子で楽しめる企画を開催していきたいと思っています。

受講者の声

1. 小さなこどもも集中できて楽しそうにしていました。
2. もう少し長い時間やってもらいたかった。
3. 自然の中で英語にふれあいながらすごすことができて楽しかったです。

森で見つけ!自然と育むおやこの発見・創造プログラム

B-38 劇団森のパレット

「家族で自然を楽しむ、学ぶ」ことをテーマに、いろいろな職業の大人たちが集まって企画したプログラムです。森の中でロープ遊びをして普段なかなか体験できない体験を行います。



ロープワークでブランコをつくりました



ロープワークで綱渡り

企画・運営者の声

今回の企画では、子どもだけでなく親御さんも楽しめるような内容を目指した。結果、親御さんからはたくさんの好評価を頂き、楽しんで帰ってもらうことができた。事前の準備においては、コロナの状況もありスタッフの集まる日をあまり確保できなかったが、オンラインでの打合せをする等工夫しながら進められたように思う。参加者の方々に喜んでもらえるだけでなく、企画をする自分たちの自己向上心にもつながっている。自然の楽しさをみんなと共有し、コロナ禍でも楽しく過ごしていけるきっかけの一つになっていければと思っている。

受講者の声

- ・ 自然の中でロープを使った遊びができ、子どもも楽しめたと思います。企画・運営頂きありがとうございました。
- ・ ロープは大人も子どもも楽しめるいいテーマだと思いました。
- ・ 子どもがとても楽しそうでした。私も楽しかったです。家でもロープをかけれそうな所があったら、遊び場を作りたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ スタッフのみなさんがとても優しく丁寧に、楽しく過ごせました。貴重な体験をありがとうございました。

おばたの森遊び

B-39 なごや環境塾どんぐりころころグループ

どんぐりころころグループが主体的に作り上げた「どんぐりころころの森」で親子で森遊びを楽しむ活動です。

秋は、オリジナルゲームと森の探検+フォトフレーム作りを行いました。冬は落ち葉掻きと落ち葉のプールづくりをしました。冬ならではの落ち葉のソリ滑りも好評でした。

毎回、森遊びを通じてしっかりと自然を体感していただいていると思っています。



2021年10月30日「秋の森遊び」
森のブランコ



2022年1月22日「冬の森遊び」
落ち葉プール

企画・運営者の声

秋の森遊び、冬の森遊びともコロナの間隙を縫うタイミングで何とか実施できたのが幸いでした。屋外での活動ですので屋内に比べれば安心度は高いけれど、密接にならないようゲーム内容を変更しての活動内容により、参加者、主催者の安全を確保できました。

森遊び自体は、参加者の評価が高く、準備は大変ですけれど満足 of いく活動と思っています。

受講者の声

自然を生かした遊びが多く用意されていて、楽しめた。

とても楽しかった。冬の森の良さを感じられました。ソリ滑りはとても楽しんでいました。スタッフのみなさんも、親切に対応してくださり楽しく過ごせました。

自然に帰ることができてよかったです。

りす山の自然学校：あなたのお子さんへの新しい学びの冒険がここに。

B-40 守山リス研究会

名古屋市の東谷山198mに棲息する野生のニホンリス・ムササビを含めた哺乳類の調査・保全のためにおとなと一緒に行動し考えることができるようにする、その際、体験による気づきとデータ計測による数字を使った自然界の理解の素養を育成する。野生ニホンリスを捕獲観察して現場で観察を行い、アンテナでリスや巣を自分達で見つける。また、野生生物の痕跡観察と観測機器の操作に触れ、また季節に応じた植物の観察や冬季の東谷山の自然環境の理解を深めるとともに、センスオブワンダーの芽を育てる。2回の夜間講座については、夜間での森の歩き方や聴覚・視覚の変化を体感してもらうことで非日常の中での冒険心と安全確保の基本をより深めることになった。



リスを捕獲しています。2022/01/15 東谷山



リスを説明しています。2022/01/15 東谷山

企画・運営者の声

コロナ禍において、安全面に配慮した中で、本物の自然に触れる環境と参加者同士の気づきや交流体験を提供することを目的としておりました。おおむね達成できましたが、参加者が目指していた生物が出現しなかった場合などもありました。また、各家庭毎に抱かれている価値観（自然保護・動物保護への考え等）との相互理解をより進めていく必要を痛感しました。期間中に代表が逝去しましたが、中止をした回はあったものの、4回以上の開催を行うことができました。下期からは、解説・説明を丁寧なものに変えたことと、講師2人体制に変更を行ったため参加者により希望に添える形になったかと思います。

受講者の声

説明が丁寧で良かった。／説明が十分だった。／はっぱのにおいがあることの原因や名前もわかって良かったです。／生き物のことや野山の自然などについて詳しく説明していただいた。／分野ごとに精通している方が教えてくださり大人も勉強になった。／夜の山、自然のことを知れてうれしい、次は必ずムササビをみたい。／昆虫の夜の取り方がわかってよかった。／夜の道の歩き方がわかってよかった。／ムササビとモモンガの違いがわかってよかった。／リスの種類や外来のリスについて知ることができた。／リスをまづかで見ることができてうれしい。／エビフライを拾うことができてうれしい。／イノシシのトイレとお風呂が一緒にびっくりした。／テンを見てみたい。

もりもり自然探検・大発見

B-41 かすがい里山自然楽校

①里山を愛する地域住民の憩いの場、②遊びながら学べる体験の場、③公園のような緑豊かな憩いの場、④里山をイメージした自然体験の場、⑤希少種の生息地域の保全。⑥「遊びと楽しみ」を通じて環境への意識の醸成を目指し、里山の整備保全活動や自然体験の活動を通して自然環境を理解する情緒豊かな人材育成を目指しています。竹林の整備と利用活用のあり方学習、水辺再生でよみがえるヘイケボタルの養成活動を重点的な目的としています。公園整備と共に幼児から高齢者まで幅広い年齢層に支持される活動を続けています。講座では自然観察を必須として地内を案内し整備の現状を紹介するとともに、楽しみながら学べるワークショップを取り入れています。近隣の名古屋市からの応募者が大半を占め、地域の枠を超えたふれあいの輪が広がっていると感じています。今回は竹馬等、竹の工策で情緒豊かな体験ができるよう工夫しました。



11月13日、自然観察会は家族単位。これから雑木林に入ります。



10月9日、まだ水分補給がいりました。消毒も忘れずに！

企画・運営者の声

コロナ対策のため家族間の触れ合いがあまりなく、ちょっと寂しく感じた。フクロウを見つけた、写真を撮れなくて残念。毎回多数の参加者で嬉しい。名古屋市南区や瑞穂区などから参加しているらしい、ありがたい。自然観察を必ず取り入れているのはいいことだと思う、いろいろな変化を見てもらったり感じてもらうことは必要だ。

受講者の声

水分補給まで準備してもらってうれしい。普段使わない竹の細工が楽しい。野外なのに参加者全員にテーブルを用意してあった、知らなかった、コロナ対策なので嬉しい。滑り止めの軍手のサービスにはびっくりした、ありがとうございます。竹うまが初めてで楽しかった。シイタケ菌打ちは初めてだった、楽しい、準備ご苦労様です。

削れ難く、保水力があり、歩き易いウッドチップ散策路を作ろう

B-42 名東自然倶楽部

人が歩く事により、削れてしまった散策路に、木や竹のチップを敷設する事により、削れにくく、保水力のある、歩き易い散策路にできます。毎年、竹藪が拡大する対策として数千本の竹を伐採しています。又、危険な樹木も伐採しています。伐採した竹や木を積み上げる為、植物が生えないゴミの山が出来てしまっています。これらを粉碎して散策路に敷設すると、ゴミを資源に変え、このような問題を解決する事ができます。

講座では、竹を伐採し、その竹を粉碎機で粉碎します。そのウッドチップを散策路に敷設します。その後、チップを敷設した散策路と敷設していない散策路を比較しながら散策します。



粉碎機で竹を粉碎している（2月19日、猪高緑地）



粉碎したウッドチップを敷き均している（1月15日、猪高緑地）

企画・運営者の声

- ①コロナの影響で、開催日直前に、キャンセルする家族連れがあり、各回の人数が4-11人と少なかった。参加人数が少なかったので、スタッフからくわしい説明を聞き、いろいろな体験ができる講習会を実施することができた。
- ②竹林管理をするグループ10人が、講座に参加した。竹の有効利用に興味があり、粉碎機の仕様、粉碎したチップの利用方法についての質問が多くあった。今後も、情報交換をしていきたい。
- ③近くの高校の先生3人が講座に参加した。「是非、生徒に体験させたい」との事でしたので、今後、高校生の体験学習に協力していきたい。

受講者の声

- ①竹チップの作り方とその効果について、よく理解できた。
- ②広い猪高緑地をしっかりと管理しているのに、驚きました。
- ③猪高緑地の歴史、環境について、よく理解できた。
- ④竹の伐採、ウッドチップ敷設が楽しかった。

森からのプレゼントⅡ ～猿投の森の恵みを丸ごと体験～

B-43 公益社団法人日本山岳会東海支部・猿投の森づくりの会

スウェーデントーチづくり、腐葉土づくり、シイタケの植菌、クロモジ茶づくりを4回シリーズで体験してもらうことによって、森の大切さ、森のめぐみを楽しみながら学んでもらいました。1回目は火おこしを体験し、スウェーデントーチを燃やしました。2回目は葉を集め、踏んで遊んで腐葉土作りを開始しました。3回目は1か月前に開始した腐葉土の微生物に酸素が十分にいきわたって発酵が進むように葉をかき混ぜました。シイタケの植菌も体験しました。4回目は猿投の森内にあるクロモジなどの植物でお茶を入れて楽しみました。



腐葉土づくりのために集めた落ち葉の上でトランポリン。
(12/25)



クロモジ茶のためにクロモジの枝を細かく刻みます。
(3/26)

企画・運営者の声

火おこし体験やノコギリ体験など、参加者の方が熱心に取り組んでいる姿がとても印象に残りました。子どもたちが集めた落ち葉の上で、トランポリンのように楽しそうに遊んでいる姿を見られてとてもうれしく感じました。受講者の声にもありましたが、日頃できない事を体験できるのが魅力なようで、コロナウイルスが感染拡大中の閉塞感を感じさせないような、非日常を感じられる講座内容にできたと感じました。昨年度からのリピーターの方にも参加していただき、また、来年度もぜひ参加したいというお声を頂き来年度の企画をまた頑張ろうという気持ちになれました。

受講者の声

火が燃えるところをなかなか見ることができないので、すごく楽しかったです。木の伐採など初めて体験することに参加できた。子供たちも落ち葉トランポリン、のこぎりなど楽しそうでした。シイタケができる仕組みを知らなかったもので、植菌の方法を知ることができ、また原木を持ち帰ることもできうれしかったです。森の循環にはそこに生きるものすべてが大切なんだという事をいろんな体験を通して学べるのはとても良いですね。こどもも楽しくはっぱを集めたり、しいたけを学べました。自分で森を散策しても木の種類は全くわからないので、細かく案内してもらって楽しかったです。自然から採れるお茶も、いい香りでした。

干潟の学校 ～藤前干潟でいろ～んなことしましょ!～

B-44 NPO法人藤前干潟を守る会

秋冬は大潮でも昼間にほとんど干潟は出ないため、春夏のようにドロ干潟に入っただけの観察会はできませんが、秋冬には秋冬の楽しみや魅力があります。稲永ビジターセンター側では、引き続きヨシ原サイドでも英語のみのプログラムを開催したり、年一回のカワザンショウガイ調査を実施したり、冬鳥の代表であるカモを中心にバードウォッチングを実施しました。

藤前活動センター側では、海苔すき体験を通して、伊勢湾台風前までは豊かな漁場であったことや海苔養殖も盛んだったこと、そしてもう一度豊かな藤前干潟を取り戻したいというメッセージを伝えました。



10月16日(土) 稲永側ヨシ原にて。カニを中心に観察、たくさんのカニに出会えました。



2月5日(土) 藤前活動センターにて。時折小雪の舞うなか、おいしい海苔をすきました。

企画・運営者の声

自然相手の活動は天気によって左右されます。今年度も「三密回避」しようと気を遣うプログラム開催でした。第1回「Crab Paradise!」は、濃厚接触者になったという家族のキャンセルもあり参加人数が少ない分、少し安心して開催できました。第2回「カワザンショウガイ調査」も寒い一日でしたが、昨年と違い室内で食事ができたのが救いでした(まん延防止が出ていると会場が室内飲食禁止のため)。それでも三密を防ぐため、外でのソーティングする姿が多く見られました。第3回の「海苔を作ろう!」は時折小雪が舞ったものの、何とか無事終了。ただ今年の原料の海苔の出来はあまり良くないとのこと。第4回の「カモかもウォッチング」は風もなく暖かく、スタッフが興奮するほど珍しい、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ツクシガモ、ホオジロガモ、アメリカヒドリなども入っていて、素晴らしい観察日和となりました。

受講者の声

- ・ The course was fun for both adults and Kids. Kids and I learned about crabs and environment well. Thank you very much.
- ・ 講師から分かりやすく詳しい説明があった。スタッフも一生懸命準備してくれたのが伝わる講座だった。
- ・ 毎日頂く海苔がどのようにできているかだけでなく、それが昔は名古屋でも作られていて、どう変わっていき、作られなくなったかまで、親子で学ぶことができて、大変勉強になりました。
- ・ 説明が分かりやすかった。鳥への愛情が伝わった。

冬眠前のカニにチャレンジ！

B-45 川ナビ歩こう会

庄内川の終点で伊勢湾の始発点である藤前干潟の自然環境を体感し、干潟を代表する生き物のカニ類を採取してカニ類が支える生態系と生物多様性をしっかり学びます。主催者が制作したカニの資料を使用し子供達にも理解しやすく親子で干潟の重用性を学ぶ事が出来ました。漂着ゴミについても現状を理解し自分達に何が出来るかを考える事が出来る時間になりました。



子どもの目線に合わせて、カニについて話す講師。



マンツーマンでカニの捕り方を指導する講師。

企画・運営者の声

直射日光が避けられない場所なので熱中症には十分気を使いました。滑りやすい所があるので中途半端な場所では話しはしない事。採取と解説は違う場所です。等々安全には十分留意してスタッフの意思のつながりを大事にしました。講師の分担がうまく出来、当日資料の内容が素晴らしく理解しやすく楽しい講座になりました。

受講者の声

- ・ゴミがすごい量でした。
- ・講師が楽しくて質問にも分かり易く答えて頂き子供の興味が高まっていました。ありがとうございました。
- ・カニがたくさん採れて楽しかった。初めはコワかったけど先生がつかまえ方を教えてくれたらうまく採れました。
- ・カニを中心にした生態系を教えて頂き、驚く事ばかりでした。自然環境の大切さを実感しました。
- ・楽しかった、またやりたい。
- ・干潟って大事なんですね。

竹の伐り出しから!本格『門松』づくり ~大人の自然工作~

B-46 NPO 東海自然学園

『竹』をキーワードに、下記を伝える全4コマの講座を企画した。

- 身近な里山の現状と、里山整備の効果や必要性を伝える。
- なぜ、身近な自然に『多様性』が必要なのかを考える。
- 自然を尊び、自然を活かし、自然を楽しむ日本の文化に触れる。

座学にて里山の現状、竹の種類や特徴、自然を利用し楽しんできた日本の歴史や文化について学び基礎知識を得た上で、竹伐り体験や竹工作を実施。竹の特徴を上手く利用し、様々な技（へぐ、割る、曲げる、切る、削るなど）を使い、最終的には門松と竹のトラを完成させる。



竹を伐り倒す体験、枝打ち体験をしている様子。



モウソウチクを伐り、割り、門松づくりをしている様子。

企画・運営者の声

- 1日目の座学は、様々な竹の実物を回覧したり、充実した資料を配布するなど、初めての人も「竹」に興味をもち、理解を深められる内容だった。
- 竹伐り体験では、ヘルメットやゴーグルなどを着用し、4名に一人の指導者がサポートするなど、安全に考慮して進めることができた。また、参加者も初めての体験を楽しみ、里山整備への関心を深めていた。
- 2日目は午前、午後ともに作品作りであったため、時間が足りなかった。(15分延長した)できれば2日間に分けて実施すると良かった。
- 2日間一緒に活動する中で、参加者同士も距離が縮まり、助け合って作業したり互いの作品を評価し合うなどとても良い雰囲気だった。
- 最後には全員が門松と竹トラを完成させ、満足の笑顔で終わられて良かった。(準備が大変だったが報われた)

受講者の声

- 竹伐り体験は体力的に大変だったが、非日常的な体験でとても楽しかった。
- 竹林の中で体を動かし、汗をかき、とても良い時間が過ごせた。
- 竹の種類が良く理解でき良かった。
- 時間が足りなかったのが残念だったが、大変楽しい内容で学ぶ楽しさを知った。
- 立派な門松ができて満足。説明も分かりやすかった。
- 毎週〇曜日開催ではない単発の講座が参加しやすくありがたかった。

ももなも耕せプロジェクト「いのこしの畑でわたをつくろう!」

B-47 特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも

名古屋市内の住宅街のなかにある「いのこしの畑」で、わたをはじめとするさまざまな自然を観察する。

「いのこしの畑」で出来たわたを収穫し、種取り・弓打ち等を体験、糸つむぎをし、その糸を使ってコースターを織る。



丹羽正行さんによる弓打ち実演



糸つむぎ

企画・運営者の声

- ・参加者の年齢が低かったため、糸つむぎやコースター織りは難しかった。対象年齢を「小学生以上」と区切るか、講座内容を再考すべきと感じた。
- ・大人と子どもを分けて作業をしたため、大人の参加者は自分の子どものことを考えず、自分の作業に集中でき、満足しているようだった。しかしそのため、年齢の低い子どもたちには、スタッフがつきっきりでサポートする必要があった。年齢の低い子どもたちには、別の内容かもしくは「託児」が必要と感じた。
- ・事前にスタッフが作業の打ち合わせや練習を行ったため、参加者へのアドバイスができたり、余裕を持って講座に参加することが出来た。

受講者の声

- ・コースターひとつつくるのにもわたの糸がたくさんいることがわかって、「すごい!」。職人の人は大変だと気が付いた。家で育てて出来たわたで糸を作ってコースターをまた作ってみたい。(小学3年・女子)
- ・スピンドルで糸をちょうせいしながらつくるところがむずかしかった。(小学3年生・男子)
- ・わたの実から糸が出来るまでのプロセスがわかっておもしろかった。糸と種を分けることが楽しかった。
- ・体験系の講座にはいろいろ参加していますが、この講座の最大の良さは大人と子どもが別々にやること。子どもがわたしに甘えず、しかもゆったり大人だけでできるので集中してやれました。
- ・他の方たちといっしょに、親子別にできてたのしかったです。

りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」

B-48 特定非営利活動法人えこども

自然あふれる名古屋市東谷山の麓を拠点に子育て支援を行う「えこども」は特別な1日になる自然体験を提案します。今回は季節を感じる講座を4回（単発受講）のラインナップです。開催時は野外かつ小グループ活動で3密（密閉、密集、密接）を避けます。



2021年11月14日 栗いが染めみんなの作品を乾かしている様子



2022年1月22日 踏み込み温床落ち葉と米ぬかを入れて踏み込んで様子

企画・運営者の声

今回はコロナウイルスの影響で山登りのイベントを延期したことが申し訳なかったです。年々参加者が増えてきていると感じました。今回は新しく踏み込み温床をやってみたが、楽しんでもらえたみたいで良かったです。雨上がりのぬかるんだ森のスリリングさを裸足になって親子で楽しんでいただけて良かったです。

受講者の声

身近な野草がこんなにおいしいとは思わなかった。子供と一緒に楽しく温床が作れると思わなかった。栗で鮮やかな色に染まると思わなかった。初めての泥遊び楽しかった。はだしが気持ちよい。崖登りが楽しかった。童心に戻れた。子どもより親が前へ歩いて行くようになっていた。大きいごぼうが掘れた。

1

団体報告書（前期）
市民／市民団体が企画・運営する講座

2

団体報告書（前期）
企業や事業者が企画・運営する講座

3

団体報告書（前期）
行政が企画・運営する講座

4

団体報告書（後期）
市民／市民団体が企画・運営する講座

5

団体報告書（後期）
企業や事業者が企画・運営する講座

6

団体報告書（後期）
行政が企画・運営する講座

ネイチャーランニング森のなかPLUS

B-49 りとらぼ

- ・都市近郊の森を使い、颯爽と駆けることでしか味わえない森の魅力を知る。これからの自然との関わり方を考える。
 - ・焚き火を通して、エネルギーや里山利用について考える機会とする。
 - ・山でのリスクをどう回避するかを学びながら、宿泊することで他者との違いを認め合う。
- 以上の内容を各回に織り込みながら、森を走るという小さな旅を通して深く共感しあいました。



10/17 東谷山（守山区）～定光寺
エマージェンシーシートでビバーク体験



11/6 犬山市野外活動センター～鳩吹山
森を颯爽と駆けおりる

企画・運営者の声

日頃から走る習慣のある人を対象としました。だからこそ走ることはばかりでなく、焚き火を通して森の恵みを享受したり、地形や森の資源を利用してサバイバル体験をしたり、野外炊飯を通して自然と触れ合いながら仲間と親睦を深めたりと、走りに終始しない工夫をしました。普段、街なかの道路しか走っていない人にとっては、森を走ることだけで異次元体験であり、走った後は一様に「気持ちいい」と言ってくれました。焚き火を通して人と森との関わり合いや、人が手を入れなくなってしまった今の森の荒れ方を見て感じて、これからの付き合い方を考える機会となりました。

受講者の声

- ・空き缶炊飯など、災害時にも役立つ体験ができ良かったです。
- ・初めて山を走る経験をし、すごく大変でしたが達成感は大きかったです。
- ・自然を満喫しながら山を走ることができました。
- ・どんな地形がビバークに適しているかなど、森をじっくりと見ることができました。
- ・寝転がって樹冠を見ると、その雄大さや美しさに圧倒されました。
- ・森林資源の利用は大切だと思う。

春日井築水の周りの自然と保全

B-50 かすがい東部丘陵自然観察会

第1回は、チョウの調査法の講義と実地体験です。かすがい東部丘陵で実施している、NACS-Jのモニタリング1000里地調査の方法を解説し、野外に出て実地体験を行いました。ところが、お子さん連れもあり、詳しい見分け方は一寸おいておいて、チョウや昆虫を見ることが中心になりました。第2回は、早春の森の生き物探しです。築水池周りでは、シデコブシが多くあり、その観察をと思っていました。ところが今年は寒い3月だったので、開花が遅く、咲き始めになってしまいました。また天気ははじめは曇りのち雨。雨の予報だったので、欠席の連絡もありました。子供連れが1グループ。子供たちもいることで、1時間ほど早く駐車場で解散にしました。写真は、雨のため第1回めのみです。



チョウの観察風景

企画・運営者の声

対象の方については、もう少し考えてやっていくことが大事かなと思います。例えばチョウの観察だけでは、難しい解説になりやすく子供たちの参加があるので、内容を広く考えておくことが大切だと思いました。また、大人対象のリーダーと子供対象のサブリーダーとに分けながら実施することや、観察にはかすがい東部丘陵自然観察会のメンバーも参加してくれているのでより小さいグループができてもいいのかなとも思い、かすがい東部丘陵自然観察会としての取り組みも全体で考えることが大切なのかなと思っています。

受講者の声

チョウの観察では、座学で見分け方を教えてもらい、フィールドでの観察において違いを見分けることができたと大人の方からはご意見をいただきました。子供たちにはサブの方が付き添うことができよかったと思います。子供たちには、先生の教え方には△でしたが…。早春の生き物では、前に書いたような状態で、シデコブシも少し、天気が良くないので、ハルリンドウもひらいていない、でもイワナシの開花が見られました。イワナシは日本海側に分布するとあり、このあたりでみられることは少ない植物です。大人にはちょっと盛り上がっていました。

環境カウンセラーと行く セントレアまるごとウォッチング2021

B-51 環境カウンセラー岡本明子

社会見学型環境講座で、国際空港セントレアの環境、安全、水際対策を考えます。コロナのパンデミックによって、国の水際対策の重要性が再認識されています。グローバル化が進んだ現在、モノや人の流れを妨げないように、でも、不都合なものは持ち込ませないという難題を、関係機関が協力し合って国を護っています。環境に配慮した空港会社、飛行機の安全を守る航空気象台なども見学予定でした。

しかしながら、今回はコロナオミクロン株の蔓延を受け、後半部分を中止しました。行く予定だった施設すべてからパンフレットなど施設を説明する紙資料をいただき参加者に送付しました。

緊急時に対応する機関だからと理解していただけたのは、ありがたかったです。



10/26、制限区域屋上から見た空港



11/9、座学、動物検疫所

企画・運営者の声

今回は、コロナ、オミクロン株の影響を受け、途中中止としました。参加者の中には高齢の人もあり、2回接種から間隔が開いてきたせいか、欠席が増えてきました。かつ、直前で講座がなくなるより、事前にわかっていた方が、迷わなくていいとの声もいただいたため、12月に中止を決定しました。

2008年から続くセントレア講座、講座の半分を中止にしたのは、今回が初めてです。参加者から苦情をいただくかと覚悟していたが、『私たちが行こうとしているのは、そういう機関だから』と言っていただいた。参加者に講座の趣旨がしっかりと伝わっているようで、嬉しく感じた。

受講者の声

普通では入れないところ、特に滑走路内に入ることができて感激した。あいにくの雨で、バスから降りることはできなかったが、色々な設備の説明を受け、勉強になった。／コロナの蔓延で、水際対策の重要性を再認識した今、タイムリーな講座に参加できてよかった。10年以上前から開催されていたとは驚いた。／オミクロン株の影響で、講座の途中中止は、残念だが、やむを得ないと思う。見学予定先全ての資料を郵送していただき、ありがたかった。来年、もう一度チャレンジします。コロナが早く収まって欲しい。／セントレアには、色々な機関が、それぞれの役割を担って存在していることを知った。／鳥インフルエンザを検査する施設があることを初めて知った。／国際郵便局は、普通の郵便局と全く違う仕組みで驚いた。

木曽川がもたらす生物多様性の恵みに感謝し、水源の森で学び、遊ぶ

B-52 NPO法人「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」

木曽川水トラストの森は岐阜県御嵩町にある。巨大産廃処分場計画に関する住民投票で処分場を拒否した御嵩町民に感謝して創設されて20余年を経た。木曽川の恵みで繁栄する名古屋をはじめとする下流域都市圏市民に、上流に感謝するまなざしを持ってもらうことを企図して本講座を行った。座学に始まり、東海地方に特徴的な落葉性広葉樹林の観察、炭焼き、竹の除伐や簡単な竹細工体験、焼きあがった炭を使ってさんまを焼いて食べる、ヒノキなどの針葉樹の間伐や枝打ちの見学、古民家での餅つきなどを通じて、木曽川上流域中山間地帯の里山の自然と暮らしを学んでもらうことが出来た。子供に里山体験をさせたかったという子連れのファミリーの参加が多かった。第1回の座学への参加者が少なかったのが残念であり、今後の反省材料である。



古民家をお借りして餅つき。子供用の杵も準備した。



トラストの森での集合写真。この日は焼いた炭を出して、さんまを焼いて食べた。

企画・運営者の声

今回は台風や大雪もなく天候条件としては順調であった。しかし、コロナ禍の影響は避けがたく、参加者数が伸び悩んだ。申し込みをしたにもかかわらず直前になって発熱不参加の方もおられた。さらに、今回は4回通しの参加者が1家族のみで、1回だけの参加者が多かった。募集要項に書いてあるのでやむを得ないことだが、次回からは「通し参加が望ましい」という一文を加える必要があるそうである。第1回の座学で、当NPO法人の成り立ちの背景となった産業廃棄物処分場計画をめぐる御嵩町の歴史、木曽川上下流間の不公平、下流域都市圏の責任などについて知ってもらうという企画の狙いが不十分となった。せめて第1回の参加を必須条件にする必要があるかもしれない。

受講者の声

みて きいて かんじて!自然とあそぼうの会 (2021年下半期)

B-53 NPO みのもしックス

親子向けの自然教育を通して、自然環境を身近なものに感じてもらい、親子で環境への意識を高めるきっかけをつくることを目的とした。

講座内容は、自然を身近に感じ、自然の中で遊ぶことで、生きる力やコミュニケーションを育てる活動と五感を使った活動を企画・運営を試みた。

今期は名古屋市内の公園も利用して、より多くの方々にお越しいただけるよう工夫をした。



11月14日に天白公園で実施した講座では、みんなでどんぐりのインクを作って、好きな絵や文字を書きました。



3月5日にあいち海上の森センターで実施した講座では、森で絵本を読みました。パネルシアターも行い、子どもたちが物語に聞き入ってくれました。

企画・運営者の声

初めて午前から午後にかけての講座を試み、手応えを感じた。

前年度に開催し、好評だった講座を新たな工夫を加え、開催しました。秋ならではの葉っぱ遊びは未就園児から大人まで、我々スタッフも共に楽しめた。

絵本DAYはお天気が味方をしてくれたおかげで、過ごしやすく心地よいゆったり森を楽しめました。

受講者の声

- ・子供が楽しんで参加できました。インク作り楽しかったです。
- ・久しぶりに自然にゆっくりふれられたので子供たちを自由に遊ばせてもらえた。説明をシンプルにして、待つ時間をなるべく少なくしていただいた。
- ・大人も楽しかった!落ち葉でこんなに遊ぶのは、子供の頃だったので、また参加したい。
- ・気軽に参加できて子供と一緒に楽しく自然を感じることができました。
- ・自然を十分体感できる内容で、とても楽しかったです。

むささびっ子の森くらぶ

B-54 NPOチームばんどり

森のようちえんでは、森の素材でクリスマスケーキを作ったり、焚き火体験など通常の幼稚園・保育園ではなかなかできない活動にチャレンジしました。初めて森に入る親子も多く、子どもにとっては貴重な原体験の場となりました。

プレ森のようちえんでは、小さなこどもたちとお母さん、お父さんが一緒に自然で過ごし、いろいろな形のどんぐりを拾っておもちゃを作ったり、生き物を捕まえたり、ゆっくりとした時間を楽しみました。



16プレ森のようちえん（平和公園里山の家）
ザリガニを捕まえたよ



1/16 森のようちえん（各務野自然遺産の森）
竹ぼっくりを作ったよ。上手にできるかな。

企画・運営者の声

感染状況によって、応募数にばらつきがあった。感染対策にも慣れてきたが、いつも緊張感を強いられながらの運営だった。こういう状況にも関わらず、子どもたちはいつも元気いっぱい、新規のリピーターも増えてきた。また、「森のようちえん」卒園後も小学生対象の講座に参加したいという声も聞こえてきて、自分たちの目的は達成されていると実感した。

受講者の声

のんびりと自然の中ですごせ、子どもはしっかり遊べて楽しかったです。
子どもがとても楽しく参加できた。最初ターザンロープも苦手～できない～と言っていたのに、皆様のサポートのおかげでできるようになった。
自然の中でたくさん身体を動かすことができ楽しかったです。
毎回子供が楽しんでます。森や自然が好きになり興味を持てました。ありがとうございます！
幼稚園最後の参加でした。今までここで教わったことを思い出す1日でした。自然と友達になってほしいと思った最初の気持ち。懸命に登る姿に重ねてうれしくなりました。

乳幼児脳育×自然あそび ecocorokids

B-55 乳幼児脳育×自然あそび ecocorokids

乳幼児のいる親子が、身近な自然環境に対する興味関心を深め、人生で最初の教育の現場で「生きる楽しさ」を得、親子の毎日の暮らしの中に自然環境とのつながりの感覚を学び、実践することで、親子の時間が充ちあふれて、参加者が、ワクワク未来を創造できることを目的として講座を実施。日本の四季行事に沿った日程で講座を組むことで、自然と文化を大切にすることを育み、更に、知育あそび×環境教育×運動×創作×子育ての学び等を盛り込んで、幼い子でも飽きることなく楽しみながら、更にお家に帰った後も日常でできることを取り入れることで、継続して心と体を育てる活動を行っている。乳幼児期の教育について深く考え、親の学びに重点を置き、親子がお互いに楽しみ学ぶ工夫や、幅広い視点から学ぶ機会を設けている。



3/4 東山動植物園でのイベントの様子です。季節の手作り絵本の読み聞かせから始まります。



12/21 東山動植物園でのぬりえの様子です。親子で草の上で思い思いに楽しみました。

企画・運営者の声

仲間やリピーターの方が増え、自然を感じ、季節の移ろいととも親子で自然とふれあい、親しみ、楽しむ時間をつくることができました。主に2つポイントがあったと感じています。①季節のオリジナルで考えた遊びとふれあいの時間、②自然と仲間が増えていく仕組みです。①四季の移ろいをテーマに、家族の時間で少しでも自然のお話が出たらいいなという気持ちを込めて、自分たちで考えた遊びやふれあいやお話を準備しました。季節のお話は、じっと見て感じしてくれる親子の姿も見られ、日々慌ただしい子育ての中で少しでも外に目を向けられる時間が増えたらいいなと感じました。②ママとして、なごや環境大学の仕組みがとてもありがたいというお話を毎回させていただいていたところ、二名のママが、なごや環境大学で何かしようなかと相談してくださり、私たちと一緒に最後一回活動しました。そうやって仲間や知っている方が増えていけたらいいなと感じます。

受講者の声

どんなあなたも大好きと言うこと どんなあなたも～とは言えてなかった 子どもらを丸ごと認めてあげること とても心に響きました。子どもが何度も楽しかったと言っていました。子どもも私も楽しめました。

親子向け防災体験講座

B-56 ながわ災害ボランティアネットワーク

環境変化によって起こる災害を学びながら、自然の大切さを学ぶ講座。

防災クイズやゲーム、避難所体験、お店作りで人と人との関わり合いとともに防災・減災を、そして環境問題の大切さを学ぶ講座。



11/6 実施 戸田川緑地 研修室
実践！避難所サバイバル体験



11/7 実施 戸田川緑地 研修室
みんなで作ろう！住みやすい街づくり

企画・運営者の声

1 回目の10/10実施の「あそぼうさいまなぼうさい」は戸田川緑地のイベント実施日に併せて開催しましたが、メイン会場ではない会場で人通りもありなく、初めての開催で事前にチラシ等で周知も行っていなかったため参加人数が見込みより大幅に少なく残念でした。

2 回目の11/6 実施「実践！避難所サバイバル体験」は段ボールを使用し子供たちはもちろん父母の方にも楽しんで防災体験をしていただきました。途中でロープ学習も行いこちらもこれから役に立つと喜んでいただきました。子供たちの方がロープの覚えが早く楽しんでいただけました。

3 回目の11/7 実施「みんなで作ろう！住みやすい街づくり」は子供たちは物の売り買いを学び父母の方には防災講座を実施し、防災減災の大事さを理解していただけたと思います。

3 講座ともコロナ禍であったため当日キャンセルが多く来年度の講座の募集方法を今一度検討を行う必要があると思いました。来年度は戸田川緑地で開催しているので環境問題をメインにした講座を行いたいと考えています。

受講者の声

- ・親子で学べる講座をもっと開催してほしい。
- ・子どもたちなりに考えてやりとりしててよかったと思います。
- ・どのような講座かわからなかったが子供たちが生き生きと取り組めて楽しめた。
- ・初めて会った友達と一緒に同じ目標にむかってできてよかった。
- ・調理ができる講座がよかった。

公害問題は今…

B-58 レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム

公害問題を過去のこととしてとらえるのではなく、今も続いている被害のことや継承すべき様々な課題、現在進行形で続いている地域の環境問題について学びあう機会とした。



企画・運営者の声

コロナ禍での開催であったためひろくPRすることができず、受講者数が少なかった。しかしながら、受講者の満足度は高く、このような内容での講座の必要性を強く認識する機会となった。

受講者の声

- ・公害資料館ネットワークについては、まだまだこれから充実していく取り組みであるため、受講生からは高い評価があった。
- ・市民活動をベースにした講義内容でとても興味深く一市民としての立場から共感できた。
- ・アスベストの問題は今まで表面的、断片的な知識しかなかったが、今日の講義で歴史的流れから細部まで学ぶことができました。

「食×国際交流」!世界の料理で環境を学ぼう♪

B-59 ノートルモンド名古屋

第3回については、新型コロナウイルスまん延による緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置などのため、開催できず中止いたしました。第1回では、名古屋大学理学研究科物理学専攻・出口和彦先生をお迎えし、食に活用できる科学や環境への影響を物理学の視点からわかりやすく教えていただきました。第2回では、防災をテーマに身近な防災と環境について、防災ママかきつばたの代表を務める高木一恵さん、名古屋工業大学大学院博士課程在学中のアフガニスタン出身でイランで学生時代を過ごした留学生のネイマットさんをお迎えしオンライン（Zoom）で開催しました。



11/21 第1回「食に活用できる科学を学び環境について考えよう」の講座風景



2/20 第2回「身近な防災と環境について考えてみよう」のオンライン講座の様子

企画・運営者の声

代表者自身が持つ様々な食に関する資格と経験、国際留学生会館イベントボランティアをはじめとする国際交流、長年取り組んできた育児支援団体での企画運営力、そしてフランスに家族と暮らした経験を生かして、「食と国際文化と子ども」をテーマとする交流のコミュニティを2015年11月1日に立ち上げました。第1回では、名古屋大学理学研究科・出口和彦先生をお迎えし、食に活用できる科学や環境への影響を物理学の視点からわかりやすく教えていただきました。第2回では、防災をテーマに身近な防災と環境について、防災ママかきつばたの代表・高木一恵さん、名古屋工業大学大学院博士課程在学中のアフガニスタン出身でイランで学生時代を過ごした留学生のネイマットさんをお迎えし現地のについて教えていただき、防災士である出口志穂が参加者との交流をしながら防災についての情報や取り組むコツを伝えました。

受講者の声

- ・オンラインなのでコロナ禍でも安心して参加できた。
- ・行政で防災に携わっているが、外国の事例はほとんど聞かないので、大変勉強になった。
- ・アフガニスタンやイランのことを全然知らなかったなので、すべてが勉強になり、環境の違いを知ることができてよかった。
- ・大学の先生から直接物理について教えてもらえてよかった。
- ・出口先生の白衣がかっこよかった。

国際協力とフェアトレードと環境

B-60 特定非営利活動法人 地域国際活動研究センター（CDIC）

2021年、コロナが世界に猛威を振るっている時に、人と人の協力、共働はどうなるのだろうか？飛行機が外国に飛ばないと、海外の友人や出来事は忘れ去るのだろうか？ネパールでのフェアトレードコーヒー作り。ベトナム人留学生の支援は多文化共生であり、環境問題は国内だけで完結しない国際協力活動だ。これが講座の問題意識でした。それら3つについて、対面方式のワークショップ形式で講師も参加者も学びあいました。参加者からは全体に好評で内容も高い評価を得ることができました。会場はいずれも北区大曽根にあるオゾンアベニュー会館3階会議室で開催しました。



11月6日（土）高岡秀暢講師（中央正面）の話聞いて、意見交換・交流をしている。



11月27日（土）池島英総講師（左立像）のフェアトレードの実情報告に、対話をしている。

企画・運営者の声

3回の講座を開催した。気候変動による環境への取り組み、コロナ下でのベトナム人との多文化共生、フェアトレードのコーヒーと切り口はそれぞれ異なる。3回目の講師によって、最後にその3回の内容が関連した講座であることが説明された。自分と国際協力活動との立ち位置として、問題を捉えることにより、世界の中の自分が参加者にわかったと思う。コロナ下で不安はあったものの、対面形式で3回ともしっかりと対話、質問、振り返りができた。内容の濃い講座になったことから、参加者の満足度も高く、しかも全回ともアットホームな雰囲気を持てたことに満足している。

受講者の声

- ◎1 環境について新しい話や、まわりの参加者の話を聞くことが出来、話がわかりやすかった。
- ◎2 支援する側と支援される側の関係が分け隔てなくなると「支援」という言葉が消える、という話がよかったです。
- ◎3の1 体験に基づく話でわかりやすく実感できた。2 フェアトレードの実際の様子や活動の内容を知ることができ、深まった。3 フェアトレードは日本にいと買う人の視点で考えてしまいがちですが、生産者側の視点で「当たり前のことです」ということを実感しました。4 体験に基づいた世代の考え方も含めて、新しい考えや生き方も感じられるお話しで良かったです。5 講師の若々しい型破りの話し方が新鮮で良かったです。（以上参加者のアンケートより）

ごきそテクノカフェ ～オンラインでSDGsについて考えましょう～

B-61 名古屋工業大学ごきそ技術士会

「ごきそテクノカフェ」は技術士の国家資格を持つ様々な分野の技術者が講師となって、毎回SDGsを切り口に技術に関わる話題について座学とディスカッションを通じ、技術者と市民の皆様との対話の場をご提供するものです。毎月第3土曜日の13:00～15:00、1回完結型で開催しています。1回だけ、またはご興味のあるテーマのときだけのご参加もできます。コロナ禍の中においてもZoomを利用したオンラインで開催していますので、ネット環境があればパソコンだけでなくスマートフォンからも気軽にご参加頂けます。コロナ禍が収束したときには、鶴舞での対面での開催も復活させたいと考えています。現在、日本全国からの参加があります。



2021年11月20日の開催中の写真（Zoom画面）



2022年2月19日の開催中の写真（Zoom画面）
Zoomを使ったオンライン開催の様子

企画・運営者の声

2021年度後期の「ごきそテクノカフェ」は2021年度前期に引き続き、Zoomを利用したオンライン開催とした。オンライン開催も起動に乗り、オンラインでの開催にも常連の参加者の皆様にはご好評頂いている。また、参加者も全国的に広がってきた。参加する側も開催する側もオンライン開催に慣れてきた。また、開催側もオンライン開催のためのノウハウの蓄積もできてきた。しかし、参加者からは可能であればJR鶴舞駅高架下商店街の喫茶サンデンでの対面開催を望む声もある。今後、コロナ禍が収束したときには対面+オンラインという形態に移行したい。ごきそテクノカフェも回を重ねるたびに参加者からの期待も大きくなっているが、SDGsの目標5の「ジェンダー平等を実現しよう」という観点からも、女性の参加者がもう少し増えるような取り組みも検討することが必要と考える。

受講者の声

わかりやすく、興味深い内容であった。
技術の背景について非常に理解が深まった。
全く知識のない分野だったが、説明が分かりやすかった。
子供や素人にわかりやすく、面白く理解してもらうのには、よいプレゼンでした。
新幹線がアルミの押し出し中空材を使っていることを初めて知れて興味深かった。
SDGsについての広範囲な内容の講演で、非常に勉強になった。

テクノロジーカフェ

B-62 公益社団法人日本技術士会中部本部・中部倫理委員会

テクノロジーカフェは、サイエンスカフェの技術者版です。リラックスできる空間で、現役の技術者が最先端技術について、話題提供します。技術のことなど、日ごろ縁のない方でも、テクノロジーカフェを通じて技術者と距離が縮まれば幸いです。今年のテーマは「コロナ禍で伝えておきたいこと」。様々なテクノロジーについて、環境の大切さを皆で話し合えたらと思います。



第4回の人気講師です。



会場の雰囲気です。

企画・運営者の声

リアル会場の参加人数を少なくするための苦肉の策として始めたWebハイブリッド講座ですが、横浜など遠方の方の常連ができました。元々、遠方からわざわざお越しいただいていたのですが、今はすっかり遠隔地からの参加です。逆にカフェの雰囲気は、やはりリアルには勝てません。やっぱりカフェに来たいという方をつなぎ止められてよかったと思います。

受講者の声

一般素人には難しい内容でしたがわかる範囲で理解できればOKです。

安全に関して会社の管理部の人間に話してあげたい。

リスクアセスメント、環境アセスメントの職業から解放されて安堵した毎日を送っていたが心理学の観点からリスクを捉えたと見方が少し変えられた。

関心のある話題（コロナ）だったので勉強になりました。

自動車の排気ガスに関する技術の最新動向について学ぶことができた。

暮らしの中のSDGs、未来の地球を守ろう！

B-63 地球エコ防衛隊

毎日の暮らしの中で私たちはSDGsに関わっています。電気を使う・ご飯を食べる・買い物をする・自動車に乗る・お風呂に入る…。でも、このままの暮らしを続けていると、未来の地球は壊れてしまいます。地球エコ防衛隊員の活動を通して、SDGsの目標を知って、未来の地球を守る暮らし方を始めましょう。



4/2 JICAにて：世界の食糧事情とSDGsのつながりについて学びました。



5/7 名建協ビル：大人から子供まで一体になって炊き出しを体験しました。

企画・運営者の声

後期開催ができず、2022年4月、5月に延期し開催しました。

世界は遠い国のことと思われがちですが、JICAのスタッフに直接お話を聞き、自分たちの暮らしの中と身近なことがたくさんあることを知っていただけました。

人為的なことが原因での異常気象が増えているのを体感しているので、地域や被災地で役立つことを体験していただき、日常で自然に地域を守る気持ちになっていただけるよう企画しました。

受講者の声

JICA

- ・初めての参加です。入口に立ったばかりの私にはちょうど良いかなと思います。
- ・国際協力の話のを伺えてとても有意義でした。
- ・展示ブースもわかりやすく世界の食糧事情がわかりました。

炊き出し演習

- ・実生活でもすぐに役立つ内容で良かった。
- ・炊き出し講座で子供には難しいかなと思っていましたが積極的に参加していてとても嬉しかったです。

大人

- ・子どもそれからスタッフの方、参加者の垣根を超えて一緒に活動できて楽しかったです。
- ・内容がわかりやすく勉強になりました。
- ・袋でのご飯炊きや新聞紙での器作りは家やキャンプでも実践してみたいです。(友人や家族にも教えたいです！)

名物カレーうどんの若鯨家が考えた持続可能な食品ロス対策

C-15 株式会社若鯨家

企業とお客様、その双方が嬉しい持続可能な社会の実現を考えた結果、桂新堂から出る「甘エビの頭」・若鯨家から出る「うどんの端材」を使い、SDGsや食品ロスについて考えながら、美味しさにこだわったお菓子をつくり、お客様に喜んでいただく。そんな持続可能なビジネスモデルを作り出しました。「サステナブルえびせんべい」の着想から誕生するまで足掛け約2年、その全てをお話いたします。



セミナー中



セミナー中

企画・運営者の声

「サステナブルえびせんべい」を通して、なごや環境大学様とご縁をいただき、今回このような機会を賜り、誠にありがとうございました。弊社として初めての講座開催でしたが、多くの方にご参加いただき、商品や取り組みを知っていただけたこと、大変嬉しく思います。【①持続可能な食品ロス対策は、中小企業でもできる②パートナーシップを組むことで、課題解決ができる③学生にも教育の場を提供し、地域にも貢献できる④持続可能な商品、企業経営に繋がる】これらは本セミナーのまとめとなりますが、参加者の皆様が自身（自社）で取り組むきっかけに繋がれば幸いです。

受講者の声

- ・商品開発にいたった経緯の説明などがとても丁寧だった。
- ・難しい話を噛み砕いて説明して頂けたので、理解しやすかったです！
- ・適切でした。この講座に参加して世の中でたくさん廃棄が出ているので他の会社、コンビニ、家の廃棄物こそリサイクルできたらと思いました。
- ・SDGsに取り組んでいる企業が就職サイトでデカデカと広告していたのが、自己満足ではないかと思ってしまっていた。しかし、今回の講座で改めて日本を良くしていこうと考えておられたのがよかった。

けんせつのしごと ～ただいま、未来を建設中！～

C-16 戸田建設株式会社 名古屋支店

洋上風力講座ではクイズや寸劇を通して、環境にやさしい暮らしとエネルギーについて知ってもらいました。愛知総合工科高校の見学会では、建物はどうやって作られるのか。また環境に配慮したものづくりとは何か。講義や見学を通して建物と環境について考えていただきました。



企画・運営者の声

本講座では、地球に優しい暮らしや、環境に配慮したものづくりについて知っていただきました。参加していただいた方から楽しかったとの感想をいただき、とても嬉しく思っております。当日はたくさんの質問も飛び交い、活気のある講座となりました。



受講者の声

- ・「浮体式」のしくみを初めて知って感動しました。風力発電がまだ日本には初動段階なのに、戸田建設さんの先見の明はすごいと思います。
- ・建築に興味があるので、スケールのすごい建物が見学できたのでうれしかったです。このようなイベントをされていることがステキだと思います。子供向けのイベントなどあればまた参加させたいです。
- ・建築するときの苦労や工夫、熱意を強く感じました。環境に対する配慮や周りとの調和などくわしく説明していただきとても勉強になった。説明して下さった責任者の方の建築に対する思いの話がとても良かったです。

1

団体報告書（前期）
市民／市民団体が企画・運営する講座

2

団体報告書（前期）
企業や事業者が企画・運営する講座

3

団体報告書（前期）
行政が企画・運営する講座

4

団体報告書（後期）
市民／市民団体が企画・運営する講座

5

団体報告書（後期）
企業や事業者が企画・運営する講座

6

団体報告書（後期）
行政が企画・運営する講座

春休み特別企画 長谷川明子先生と学ぶ生物多様性・ビオトープ講座

C-17 東邦ガス株式会社

東邦ガス ガスエネルギー館で、生物多様性とビオトープについて長谷川明子先生から講義を受けた後、実際にビオトープに入って生き物を観察し、生物多様性について理解を深めていただく講座。参加者は、中学生を中心に、親子の参加者を含め20名。

コロナ禍での開催のため、ビオトープでの観察の際、班分けをして、実施するなど工夫して開催。なお、本講座の様子を、当社の環境への取組み全般に関し意見交換をする環境ダイアログに参加いただいた大学生6名にも見学いただき、意見を頂戴した。



3月29日 東邦ガス ガスエネルギー館ビオトープにて、生き物を採取する参加者



3月29日 東邦ガス ガスエネルギー館ビオトープにて、採取したやごを分類、観察する参加者

企画・運営者の声

生物多様性に関する講座は毎年開催してきたが、小学生の親子が中心だった。今回は、小学生親子に加えて、初めて中学生14名に参加いただき、長谷川先生から生物多様性について、わかりやすいながら、従来より深く、詳しく説明いただいた。その後、実際にビオトープにおいて、池および周辺での生き物の採取や観察を行った。

参加の中学生や親子も、環境問題への意識が高く、かなり知識もあったこともあって、体験によって更に多く感じ取っていただき、また参加したいとの声をいただいた。これまで、なかなか、交流の機会のなかった中学生とも交流できたことに意義を感じており、来年度以降も継続して開催していきたい。

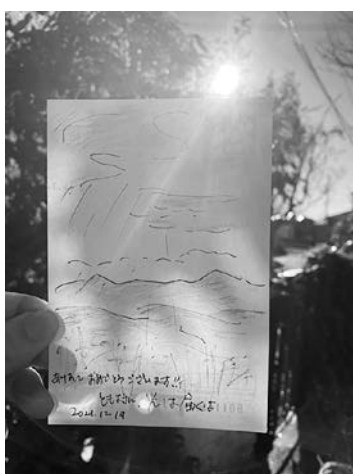
受講者の声

- ・参加の中学生は、生物に詳しい生徒も多かったが、長谷川先生の説明が広く、深みがあり生物多様性の理解が深まった。また、やごの採取や種類の特定は経験がなかったようで、池で採取した4種類のやごの分類や観察から、生物種や食物連鎖にも興味をもっていた。
- ・参加の小学生の質問に、中学生がさまざまなアドバイスをするなど、参加者相互のコミュニケーションにより講座が充実した。
- ・保護者のかた自身も、生物、特にやごのような昆虫を採取した経験は少なく、お子さんを含め、座学での理解が深まったと好評いただいた。

なごや・近郊の森 de セルフケア&ナチュラルクラフト

C-18 prana (プラーナ)

都心の三の丸庭園と近郊の三好丘緑地の2か所で森林セルフケアを行った。五感を使った体験を通じて、心身のバランスを整え、その後毎回繋がりが会うテーマに沿った座学とクラフトづくりを通して、身近にある自然に目を向け、その恵みに気づくきっかけとなること、自分も自然の循環の中の一員であることへの気づきを得ることへ誘う。なごや環境ハンドブックを用いることにより、名古屋市の環境全体への意識を深めていきたい。



森林セルフケア 私への手紙



間伐材のアロマウッドストーンづくり

企画・運営者の声

今回も、感染症対策を講じた上で無事開催することができて嬉しく思っております。私がこの講座で実践したかったことは、自らの意志で身近な自然（森林）に出向き、自らの心身を整える、というプログラム＝「森林セルフケア」を広め継続していくことと感覚を開いた状態で環境というものを自分事として考えることを同時に行うことでした。人生の主導権を自分に置き、自発的に自分を見つめることは、今の時代にとってもマッチしていると感じています。プログラム上、定員数を5名とさせていただきましたが、参加された方のプログラム後のリラックスした表情を見て、今後もうるやかに継続していこうと決意しました。

受講者の声

身近な自然を通じて新鮮な学びができた。
外でセルフケアしたり室内でアロマスプレーを作ったり充実した時間でした。
森林セルフケアを行って心が軽くなった。
名古屋に素敵な森があることを知り、そこで得難い体験ができた。そして上質の蜜蝋、精油に出会えたことに満足した。
丁寧な説明で分かりやすかった。
講座手法、大変良い。
自然を満喫できた。
自然の中でリラックスできた。アロマジェルを作り、楽しかった。
大好きな三好丘緑地をゆっくり楽しむことができた。

東谷山フルーツパークのネイチャー×カルチャー×サバイバル！

C-19 東谷山フルーツパーク

東谷山は名古屋市最高峰の山であり、東谷山フルーツパークとその周辺には豊かな環境資源が存在しています。それを利用した3分野（自然環境、古墳と歴史、防災）の講座を行います。東谷山フルーツパークとその周辺の魅力を楽しむ企画です。



10/24、2/26 東谷山フルーツパーク内で季節に合わせた自然観察会を行いました。



3/13 東谷山フルーツパークに親子が一時避難してきたことを想定し、段ボールで一晩過ごすための寝床を作りました。

企画・運営者の声

東谷山の豊かな自然や古墳群をもっと多くの方に知っていただき、楽しんでいただきたく考えた企画でした。東谷山フルーツパークをフルーツ・果樹だけでなく、楽しんでいただけたのではないかと思います。

受講者の声

【第1回】フルーツパーク内にいろいろな場所があり、さまざまなしょくぶつがいることがおもしろかった。

【第2回】高座山に降りた神様が鹿に乗って庄内川を渡った話がおもしろかった。後半は時代順に古墳を紹介していてわかりやすかった。

【第3回】古墳の構造から歴史まで広く教えていただきました。

【第5回】身近なものを利用して防災グッズを作れることを学べた。

バードウォッチングに挑戦!! ～蟹江町にやってくるカモを観察♪～

C-20 株式会社 加藤建設

日頃の生活で、双眼鏡を片手に野鳥を観察する方は、極少数かと思われます。場合によっては、双眼鏡すら使用したことが無い方もいるかもしれません。そこで本講座では、初心者の方でも楽しめるように、双眼鏡の正しい使い方をレクチャーするところからスタートし、野鳥観察の楽しさをお伝えしました。

また、カモ類の生態について紹介する事で、身の回りの地域だけでなく、地球規模で自然環境を守っていく必要がある事を解説しました。



集合写真



観察会の様子

企画・運営者の声

この度は、共育講座にご参加下さいまして、誠にありがとうございました。

当日は、蟹江町にやってくるカモの仲間をはじめ、たくさんの野鳥を観察することができました。双眼鏡を上手に扱いながら、指導員の解説に耳を傾け、真剣に勉強している光景が見られましたので、非常に有意義な時間となりました。またの機会が御座いましたら、是非ご参加下さい。お待ちしております。

受講者の声

- ・今まで気にしなかった鳥のことがよく分かった
- ・軽快な語り口でわかりやすかった。見せ方も上手だと感じました
- ・子どもに分かりやすく、図鑑や資料などで教えてくれてよかった

山県市北部でまったり2021 ～秋・冬～

C-21 やまがたフットパス実行委員会

山村地域での自然・食との関わり方、共生方法を学べる講座を実施しました。

豊かな自然の恵みと厳しさを知っていただき、その中でどのように共生して暮らしてきたのかを、体験を通して感じていただきました。

また実際に里山で暮らしてきた地元のおばあちゃん達を講師に迎え、実生活を通した言葉で、日々の暮らしぶりや生きていく知恵、その土地の文化を話していただきました。



10月23日 里芋の収穫の様子（山県市）



1月23日 味噌づくりの様子（山県市）

企画・運営者の声

北山地区、神崎の食に関するイベントで、参加者の方に、保存食のこと、この土地でできるおいしい里芋を知っていただけて、よかったです。ちゃ茶クラブさんの手作りの田舎料理が参加者のかたに、とても好評で、おいしい！お腹いっぱい！という感想をいただき、嬉しく思います。都会にはない、田舎の落ち着いた暮らし、長年続けてきた、伝統的な保存食、農作業、などを伝えていけたら、と思います。田舎は人口が減ってっていますが、このような講座によって、この地区に来る方が、増えて、交流によって、地域の人が、元気になっていけたら、いいと思います。

受講者の声

- ・みなさん優しく接していただきました。
- ・みなさんがとても親切で上手に作ることができて、とても楽しかったです。
- ・たのしく料理ができ、おみやげがいっぱい、おいしい料理が嬉しいです。
- ・とても説明が上手でわかりやすかった。
- ・みそは育てていくのが大変というか、カビさせないように、見守らないといけないと思いました。

なごやSDGsグリーンパートナーズ事業所から学ぶSDGsと環境

E-11 名古屋市環境局低炭素都市推進課

SDGsや環境問題への対応は、企業経営には必要不可欠な要素です。この講座では、名古屋市内でSDGsや環境に配慮した取組を行っているとして、なごやSDGsグリーンパートナーズとして認定されている事業所に取組み内容をご講演いただき、事業者の自主的な取組みを支援するとともに、その取組み事例の普及により、環境に配慮した事業活動への転換を促進することを目的とします。



オンライン開催のため、写真はありません。

企画・運営者の声

今年度はオンライン開催としたため、参加者が例年より増えました。気軽に参加いただける一方、以前に実施していたように直接事業者を訪問して、実際の取組を見たいというお声もあり、来年度以降の課題と考えます。

受講者の声

- ・ 業界によってどのようなSDGsの取組がされているのかがよくわった。それぞれの業界、会社の強みを発信することは会社の未来にもつながるし、社員のキャリアアップにもつながるのでとてもよいと思いました。大変勉強になりました。
- ・ 日常生活では普通に行っていることも、改めて改善する余地があると気づく事ができました。
- ・ CO₂の見える化やカーボンマネジメントについて興味が強まりました。自社でも脱炭素への取組について見直そうと思いました。

干潟からこんにちは ～貝から学ぶ生物多様性～

E-12 港生涯学習センター

地球上には、様々な環境に適応した多くの生物がつながりあい、バランスをとっています。人はその生物から衣食住において恩恵を受けていますが、人の活動により、多様な生物が今、絶滅の危機にあります。改めて生物多様性の大切さを学び、地球を守るヒントを得る機会としました。



12月4日 公開講座 視聴覚室
スライドを使った説明



12月4日 公開講座 視聴覚室
アサリを使った水の浄化実験

企画・運営者の声

10代から70代までの幅広い方々にご参加いただきました。
アサリを使った水の浄化実験など、貝について学ぶことができました。

受講者の声

- ・ 貝の生態をよく知らなかったので勉強になりました。
- ・ 大変参考になりました。
- ・ アサリを使った水の浄化実験は興味深かったです。

農から始める SDGsらいふ♪

E-13 昭和生涯学習センター

農業は自然界における水や窒素、炭素といった物質の循環を利用して生産を行っています。この講座では、SDGsの17の目標のうち「陸の豊かさを守ろう」「つくる責任つかう責任」に関わって、「農業技術の匠」から有機農業に関わる話を聞いたり、実際に寄せ植えをつくったりして、環境への関心を高めました。



2月22日（火） 昭和生涯学習センター
3種類の土を混ぜて、種まき用の土を作りました。

企画・運営者の声

全4回の講座のうち、3回は実習を交えながら土や肥料、寄せ植えをつくりました。実際に手を動かしながらの講座でしたので、講師からは分かりやすく説明をいただきました。講座中に講師への質問が飛び交い、受講者の皆さん1人ひとりが、熱心に参加されているのが印象的でした。



3月8日（火） 昭和生涯学習センター
講師から寄せ植えに使う苗を紹介して頂きました。

受講者の声

- ・ いつも我流だったので、一から教えてもらえて良かったです。
- ・ 肥料のことを詳しく知れて良かったです。
- ・ プランター園芸にも大変参考になりました。
- ・ 興味のあった自然農法について知ることができ、内容的によかったです。

めざせ!!水の環復活 ～学んでみよう、水のこと～

E-14 名古屋市環境局地域環境対策課 水質地盤係

水循環について学び、身近に感じていただくことにより、健全な水循環の復活のために各自で何ができるかを考えていただくきっかけとする。水循環や湧き水の仕組み等について学んだ後、屋外で地下水の湧出地点等を見学し、水量や水温等を実際に体感してもらう。



11月8日 第1回講座にて鶴舞中央図書館の湧き水の説明をする様子



11月8日 第1回講座にて鶴舞公園内の説明をする様子

企画・運営者の声

なごや環境大学共育講座の枠組みで講座を実施したことにより、環境への興味・関心が強い参加者を多く集客できたため、水循環について学び、健全な水循環の復活のために各自で何ができるかを考えるきっかけとするという講座の効果がより高まったと感じた。

受講者の声

- ・ 講座に参加をして楽しかった、勉強になった。
- ・ 市内に湧き水があること驚いたとともに、実際に見学することができてよかった。
- ・ 講師の話し方が面白く、わかりやすかった。

植物を学び「生物多様性」について考えませんか ～体験活動を通して～

E-15 中川生涯学習センター

植物について学ぶ中で、生物多様性について考え、地球環境が様々な生物の存在によって成り立っていることを知る。現地学習や体験活動を行い、学んだことを今後の生活の中で生かしていくことができるようにする。



2/10 東山植物園の温室や散策コースを巡り、植物の説明を受けた。

企画・運営者の声

自然、特に植物に関する関心度が高く、全体的に欠席者が少なかった。(第3回積雪のあった日で例外) 時間に融通が利いて植物に関心度が高い高齢者が多く、現地学習が多い講座だったので天候の影響を強く受けるが、植物園では雨だったにもかかわらず欠席者が少なかった。



2/24 平和公園のくらしの森散策コースを歩きながら、道辺の植物の特徴を解説してもらった。

受講者の声

公開講座では、講演の時間が足りなかった。名古屋に、植物の種類が多いことに驚いた。中川運河の話が良かった。

1

団体報告書(前期)
市民/市民団体が企画・運営する講座

2

団体報告書(前期)
企業や事業者が企画・運営する講座

3

団体報告書(前期)
行政が企画・運営する講座

4

団体報告書(後期)
市民/市民団体が企画・運営する講座

5

団体報告書(後期)
企業や事業者が企画・運営する講座

6

団体報告書(後期)
行政が企画・運営する講座

海洋プラスチックがもたらす危機 ～その原因と影響を探る～

E-16 中村生涯学習センター

近年、廃棄されたプラスチックが経年劣化や熱などによって細分化されたマイクロプラスチックとなり、海洋汚染につながっていることが話題となっています。海へ流出しているプラスチックの量や、環境に与える影響について学び、自らの生活を振り返るきっかけとすることができるようにします。



講師の千葉賢教授



ゴミが集積する北太平洋の巨大渦の説明に聞き入る受講者の様子

企画・運営者の声

近年話題となっているマイクロプラスチックと呼ばれる小片が海洋生態系に与える影響について講義いただきました。親子での受講、また大学生の受講など、受講者の年齢層が幅広く、若い年齢層の興味を引く内容であったと感じました。SDGsが一般的に広がりつつあり、様々な世代が学ぶ機会となりました。

受講者の声

- ・マイクロプラスチックが、もう空気中にまで影響を及ぼしていることを知り、危機的だと実感した。自分にできることをやらなくてはと思いました。
- ・とても参考になったが、では我々は行動をどうするか難しいです。
- ・千葉先生のご講演はとても分かりやすく有意義でした。
- ・一般人ができることの方法のヒントや企業の具体的取り組みも紹介してほしいです。

毎日の暮らしに一工夫！～身近で感じるエコチカラ～

E-17 イーブルなごや（名古屋市女性会館）

エコチカラの取材に基づいた、環境に配慮した暮らし方についてや、環境にやさしい暮らしや日常生活に実践できるアイデアなどの話をご講演いただいた。また、講師が、これまでのキャリアで培った、経験・人脈・取材力を生かした、日々の生活が楽しくなる「考え方」について話をうかがった。



10月17日 イーブルなごや ホール
取材に基づく事例について話す様子

企画・運営者の声

エコチカラの取材に基づいた具体例をもとにしたお話で、とても楽しく分かりやすかったです。コミュニケーションがエコにつながるという話が印象的でした。コミュニケーションをとることで、そのものを作っている人やその魅力などを知ることができ、自身の消費行動に変化がでたり、ものを大切にしたりすることができるというお話でした。また、コミュニケーションをとるために、インタビューの極意も教えていただきました。

これからの生活で実践してみたいと思いました。

受講者の声

- ・ これからの生活にとっても役に立つお話がきけて良かった。
- ・ 深谷さんならではのエコの考えを参考にしていきたいです。
- ・ 最後のインタビューの極意がよかった。
- ・ 毎日の生活からエコ、キャリアを生かした話し方について等、楽しく聞くことができました。

大切なものを長く使いごみ減量を意識してみませんか

E-18 名古屋市環境局減量推進室

- ・南リサイクルプラザで、「ものを長く大切に使う」意識の啓発のために、不用になった衣類を使った布ぞうりづくりや着なくなった着物のリメイク、包丁の研ぎ方講座を実施しました。



包丁研ぎを行う様子



布ぞうりを作る様子

企画・運営者の声

受講者の方々には講義の中で講師の説明を熱心に聞いていただき取り組んでいただきました。今後更なるごみ減量に関心を持っていただけたと思います。

受講者の声

- ・布を切らずに出来る事がすばらしかったです。（10/30 作務衣づくり）
- ・とてもよくわかりました。家で練習したいと思います。（11/27 包丁研ぎ）
- ・楽しく学習ができました。時間内に出来上がるか不安でしたが、出来上がった時は嬉しかったです。（12/18 布ぞうりづくり）
- ・先生が丁寧に指導していただいて満足。（2/26 包丁研ぎ講座）

水の歴史資料館で学ぶ 安心・安全な名古屋の水道

E-19 名古屋市上下水道局調査課 水の歴史資料館

安心・安全な名古屋の水道はどのようにつくられ、どうやって皆さんのご家庭に送られてくるのか？

知っているようで知らない水道の仕組みについて、災害時に直面する水とトイレの問題とあわせて、実験や実技説明などをおりまぜながら、楽しく学習でき、家庭や地域の防災力アップも期待できる講座としました。



11月6日 水道の仕組みを学び、沈でん、ろ過の実験を行いました。



1月8日 屋外で、災害用トイレ、地下式給水栓、仮設給水栓の実物を見学しました。

企画・運営者の声

受講者の学習意欲が高く、企画・運営する側にとっても、やりがいのある講座です。

3回の講座を通して受講していただくと水道事業全体についての理解が深まりますが、個別受講も可能です。

座学だけでなく、館内見学や実験、実演などで楽しく学べます。

新型コロナウイルス感染症対策として、グループワーク、受講者の作業体験を一部見合わせました。

受講者の声

- ・名古屋の水が安心でうまいことが勉強できた。
- ・実験が面白かった。
- ・水が簡単に飲めますが、多くの工程を経て安心・安全な生活ができるのが一番です。
- ・実演が良かった。
- ・身近な水の話で知らない事も多く、とても勉強になりました。わかりやすかったです。
- ・災害用のマンホールが近くにあり、どのように使うのか気になっていたのですが、使用法が分かり、勉強になりました。

身近でできるSDGs ～「エシカル消費」をはじめませんか～

E-20 千種生涯学習センター

毎日の生活の中ですぐに行える環境保全活動「エシカル消費」について学びました。商品が地球環境に優しいのか、人の暮らしを守って作られているか、買物をするときも必要な分だけ買っているか、シェアやリサイクルなどをして資源を大切に長く使っているか、など身近なところから考えました。SDGsとは？食品ロスとは？海洋プラスチックごみとは？にも話が及び、国際フェアトレード認証ラベル、レインフォレスト・アライアンス認証、RSPO 認証など認証ラベルについて学習し、受講生各自オリジナルの認証ラベルを作りました。



講師の説明を静聴する受講生の風景



課題の解答を発表する受講生の風景

企画・運営者の声

コロナ禍においての公開講座であり、しかも、折りしも第六波がやって来て感染者が急増するタイミングだったこともあって、予想した以上に受講者が少なかったのは大変残念でした。それでも、それだからこそ、おいでくださった受講者は大変熱心な方ばかりであり、少数精鋭とも言える状況でした。講師の三輪先生にも「少数でも楽しいひとときでした」と仰っていただけただけの受講生が集まってくださったのは、感謝です。SDGsやエシカル消費に対する意識が高められた、とても有意義な講座だったと思います。

受講者の声

- “エシカル消費”と一言に言ってもいろいろな関わりがあって相対的に見て考えるものなんだと分かりました。今まで一人で漠然と取り組んでいましたが、ラベルを作ったことで、自分がどんなことに興味があったのか、改めて考えることができました。
- ラベルを意識した活動をするように心がけます。

オンラインでかんきょうラボ!

E-21 名古屋市環境科学調査センター

大気・水質・生物の分野において、自然現象や環境問題を科学的な視点で分かりやすく解説した。Zoomを使ったオンライン講座での開催で、参加者にリアルタイムで参加いただいた。

第1回「なごやの川の水質と生きもの～40年間の変遷～」では、棲んでいる生物によって河川の水質を数値化し、名古屋の川の水質と生きものがどのように変化していったかを解説した。

第2回「銀のリサイクル～アクセサリ作りに挑戦～」では、金属のリサイクルの重要性を解説し、当センターで出た実験廃液から銀のアクセサリを作成した様子を配信した。

第3回「アスベストってなに？」では、アスベストの過去の使用事例、健康影響などを解説し、分析方法などを紹介した。



銀のアクセサリ作りの実験動画



当日の配信風景

企画・運営者の声

オンラインで実施したことにより、コロナ禍でも例年と同様の講座を開催することができた。ただ、過去に参加いただいている方の中には、自宅にインターネット環境が整っておらず参加できない方がいる。また、オンラインという方法が原因なのか申込みに対して当日の参加率が低かったのが課題に感じた。

受講者の声

- ・ ASPT のこと、水生生物の外来種問題を知ることが出来た。
- ・ 銀に限らず捨ててしまいそうなものからリサイクルが出来る事や水質検査の仕組みが楽しかった。
- ・ 分析過程が面白かったです。
- ・ 講師の説明が丁寧で分かりやすかった。
- ・ アスベストの過去の歴史が改めて学べてよかったです。
- ・ 生息する生きものについての説明が少なく、また今後の予想もなかった。

きれいな水を未来へ ～水環境の保全について学ぶ～

E-22 守山生涯学習センター

わたしたちの身近にある水。今回、座学・施設見学・川や湧き水の現地学習・水質調査などいろいろな面から水を取り巻く環境を見つめていきます。未来に向けてきれいな水を残すために何が必要で、私たちのできることを考えます。



10月26日（火） 公開講座風景



11月9日（火） 庄内川 水分橋付近にて魚の環境調査・清掃活動について学ぶ

企画・運営者の声

座学・施設見学・現地学習とフィールドが広くまた、微生物から魚類の生態系、環境保全とし視点が多く楽しんで頂けた講座でした。特に、普段行くことがない下水道科学館や鶴舞公園の湧き水など興味津々でした。できれば、上下水道のインフラ整備まで踏み込めたらもっと良かったと思います。

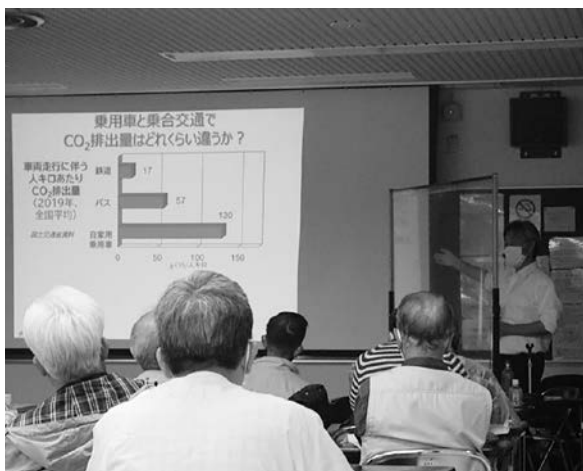
受講者の声

- ・水の重要性が再確認できました。
- ・さらに詳しい講座を受けたいと思いました。
- ・上水、工業用水、農業用水、下水道一連で学習したいです。

交通と環境のつながり ～名古屋の未来を考える～

E-23 西生涯学習センター

「安心・安全な」「環境にやさしい」「にぎわいのある」まちづくりのためには交通と環境のつながりについて考えることが大切です。車社会と言われる名古屋の交通事情について学び、まちと交通の関係を見つめ直します。交通を通して、名古屋の環境の未来をともに考えます。



第2回 講義の様子



第3回 エコパルなごやにて、新幹線による騒音公害の被害にあわれた方にお話を伺いました

企画・運営者の声

名古屋大学大学院環境科学研究科教授の加藤博和先生による講義では、国内外の最新事例にもとづいて、「交通と環境問題との関係」、「地域公共交通の現状と課題」、「クルマの街・名古屋における交通の課題と今後の展望」という3つの観点から理解を深めました。また、3回目の現地学習では、エコパルなごやにて、名古屋において新幹線による騒音や振動の被害を受けられた方によるお話を伺い、公共交通がもたらす公害について学びました。

4回の講座を通して、「交通と環境とのつながり」について様々な角度から知識を深めるとともに、私たちが日々の暮らしの中で、取り組まなければならない課題について考えました。

受講者の声

- ・「交通と環境のつながり」について、知識を深めることができました。
- ・今まで考えたことがなかった視点からの内容で、大変勉強になりました。
- ・加藤先生のお話は理解しやすく、素晴らしかったです。
- ・「低炭素なごや2050戦略」に大いに賛同します。

持続可能な社会のために ～SDGsと環境保全の取り組み～

E-24 熱田生涯学習センター

SDGs（Sustainable Development Goals）とは、17のゴールを示し、持続可能な社会をめざす取り組みです。本講座では、SDGsが採択された歴史的背景や意義について知るとともに、企業や団体の環境保全の取り組みについて学びます。



10/14（木）第1回【公開講座】
熱田生涯学習センター 視聴覚室
「学ぼう、SDGs ～持続可能な社会のために～」
講座の様子

企画・運営者の声

SDGsについて関心の高い受講者が多く、すでに取り組んでいる方、これから取り組んでいこうという方々が、多数受講されていました。SDGsの推進に取り組まれている講師の話を聞くことで、これまで知らなかったSDGsの内容や歴史的背景について理解したり、企業の取り組みについて知ることができました。講師の方の話に、思わず驚きの声を上げている姿も見られ、とても熱心に学んでいると感じました。オンラインではなく、対面で講義を行うことができ、講師の方のSDGsに対する思いを肌で感じることができました。講座の満足度も高く、SDGsへの理解が深まる講座となりました。



11/4（木）第3回
熱田生涯学習センター 視聴覚室
「味噌煮込みうどん店がみんなのためにできること」
講座の様子

受講者の声

- ・SDGsは、これからの社会に大変必要となっていきます。熱田区は熱田神宮もあり、特に子どもたちが古い歴史にもふれる機会が多く、宮宿会やNPOが子どもの未来や日本の礎の為に、特に動いています。伝統文化とSDGs、特にこれから取り組んでいかねばならぬ課題だと思います。
- ・SDGsは大変大切な世界中の課題だと思いますので、色々な形で公の場で提案していただきたいと思います。持続可能な地球のために、未来の子ども達のためにも、よろしくお願い致します。
- ・SDGsを考えるよいきっかけになった。企業がSDGsにどのように取り組んでいるのかによって評価される時代になっていることに驚いた。



なごや環境大学

好評発売中

なごや環境ハンドブック

地球環境から身近な名古屋の環境まで

知識を身に付け行動しよう

世界となごや SDGsを支える環境を学ぶ

なごや環境 ハンドブック

Nagoya Handbook of the Environment

～ワークシート・SDGs関連図付き～

地球サミット 生分解性プラスチック 炭素循環
ヒートアイランド現象 バゼル条約
ゼロカーボン 食料
グリーンエコノミー プランウェイ 藤前干湯 気候変動 枠組条約
ごみ非常事態宣言 生態ピラミッド 自動車NOx・PM法
包摂型社会 SDGs 持続可能な開発



ワークショップ用の
資料作りに
役立っています

調べ学習の
参考テキストとして
使っています



子供と一緒に
環境について
考えるきっかけに
なりました

SDGsについて
関心があるので
手に取りました



頒布価格 **1,000円**(税込)

※「なごや環境大学」で購入される方は特別価格800円

お問合せ・
ご購入

「なごや環境大学」実行委員会事務局

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23-13 伏見ライフプラザ13階
(名古屋市環境学習センター エコパルなごや内)

TEL&FAX: 052-223-1223 E-mail: jimu@n-kd.jp webサイト: <https://www.n-kd.jp/>





発行/「なごや環境大学」実行委員会
発行年月/2023年3月

問い合わせ先/「なごや環境大学」実行委員会 事務局
〒460-0008
名古屋市中区栄一丁目23-13 伏見ライフプラザ13階
(名古屋市環境学習センター エコバルなごや内)

TEL・FAX 052-223-1223

Eメール jimu@n-kd.jp

ウェブサイト <https://www.n-kd.jp>



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C118254

